

2025 年度（令和 7 年度）  
福山市 こども 計画  
（第 2 期福山市ネウボラ事業計画）  
の実施状況

— 目 次 —

- 1 基本方針に基づく主な事業等について ..... 1
- 2 事業量の見込みと確保方策について ..... 30

# 1 基本方針に基づく主な事業等について

## ○ めざす姿と施策体系

めざす姿	地域みんなでつくる すべてのこども・若者の未来が輝き 子育て家庭の希望が実現できる こどもまんなかのまち ふくやま
------	--

基本方針	基本施策
<b>【1】</b> 子育て家庭への取組	(1) 妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援の充実 (2) 地域における子育て支援サービスの充実 (3) 保育所その他の施設での保育サービスの充実 (4) 乳幼児期・学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実 (5) 周産期・小児医療提供体制の充実 (6) 仕事と子育ての両立支援（共働き・共育ての推進） (7) 子育てや教育に関する経済的負担の軽減 (8) 子育てにやさしい生活環境づくり
<b>【2】</b> こども・若者への取組	(1) 未来を切り拓く人材を育成する教育環境の整備 (2) 多様な遊びや体験活動の推進 (3) こども・若者の居場所づくり (4) こども・若者の安心・安全な暮らしの確保 (5) 若者の就労支援 (6) 結婚を希望する若者への支援 (7) こども・若者の権利を守る環境づくり
<b>【3】</b> 援助を必要とする こども・若者、 子育て家庭への取組	(1) 児童虐待防止対策等の更なる強化 (2) ひとり親家庭等への支援 (3) こどもの貧困対策 (4) 障がい児支援・医療的ケア児等への支援 (5) 悩みや不安を抱えるこども・若者、子育て家庭への支援

※各基本方針に共通する視点：「デジタル技術の活用」、「備後圏域市町との連携」、「地域社会全体での各施策の推進」

2025年度（令和7年度）実施状況等
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2025年度（令和7年度）は、「福山市こども計画（第2期福山市ニューボラ事業計画）」の開始年度であり、基本方針に基づく事業は概ね着実に実施されている。</li> <li>● 今後も、少子化対策やこども・若者、子育て家庭への総合的支援等の更なる充実に努め、官民が一体となって、めざす姿である「地域みんなでつくる すべてのこども・若者の未来が輝き 子育て家庭の希望が実現できる こどもまんなかのまち ふくやま」の実現をめざす。</li> </ul>

○ 関連指標の実績値

【めざす姿を実現するための指標】

指標	計画策定時の 現状値	2025年度(令和7年度) 実績値	目標値	備考
「生活に満足している」と思 うこどもの割合(満足度7～ 10と回答した割合)	(小学生) 73.6% (中学生) 63.4% (2023年度)	—	(小学生) 80.0% (中学生) 70.0%	次回調査 2028年度
「自分には自分らしさとい うものがある」と思うこど も・若者の割合	(小中学生) 89.9% (15～39歳) 83.7% (2024年度)	(小中学生) 90.6%	(小中学生) 95.0% (15～39歳) 90.0%	次回調査 2028年度 (15～39歳)
「どこかに助けしてくれる人 がいる」と思うこどもの割合	(小中学生) 97.2% (2024年度)	(小中学生) 94.6%	現状維持	
「自分の将来について明る い希望がある」と思うこど も・若者の割合	(小中学生) 86.2% (15～39歳) 67.1% (2024年度)	(小中学生) 85.1%	(小中学生) 95.0% (15～39歳) 80.0%	次回調査 2028年度 (15～39歳)
「この地域で子育てしたい」 と思う親の割合	92.9% (2023年度)	93.0%	96.0%	

基本方針1 「子育て家庭への取組」の評価指標

【成果指標】

施策 No.	指標	計画策定時の 現状値	2025年度(令和7年度) 実績値	目標値	備考
1-1	妊娠11週以内での妊娠届 出率	95.8% (2023年度)	95.6%	95.0%以上	
1-1	妊婦歯科健康診査受診率	46.9% (2023年度)	46.1%	54.0%	
1-1	こんにちは赤ちゃん訪問 事業の生後4か月までの 訪問率	101.4% (2023年度)	96.2%	100%	
1-2	地域子育て支援拠点事業 実施か所	36か所 (2023年度)	36か所	41か所	
1-3	保育所待機児童数	0人 (2023年度)	0人	0人	
1-4	1歳6か月児健康診査受 診率	98.0% (2023年度)	97.4%	97.0%以上	
1-4	むし歯のない3歳児の割 合	90.7% (2023年度)	93.0%	94.0%	
1-4	麻しん風しん定期予防接 種の接種率	92.2% (2023年度)	93.3%	95.0%	
1-4	朝食を毎日食べている人 の割合	(5歳児) 93.2% (小6) 87.5% (中2) 79.3% (高2) 75.4% (2023年度)	—	100%	次回調査 2029年度
1-4	児童における肥満傾向児 の割合(小6)	(男子) 17.2% (女子) 10.7% (2023年度)	—	7.0%	次回調査 2029年度
1-4	最近1か月の喫煙経験が ある人の割合	(中2) 0.3% (高2) 0% (2023年度)	—	0%	次回調査 2029年度

1-4	最近1か月の飲酒経験がある人の割合	(中2) 0.9% (高2) 0% (2023年度)	—	0%	次回調査 2029年度
1-4	BMI18.5未満の20~30歳の女性の割合	13.0% (2023年度)	—	13.0%	次回調査 2029年度
1-4	「食育」に関心がある人の割合	(男性) 67.3% (女性) 76.6% (2023年度)	—	84.0%	次回調査 2029年度
1-6	男性の育児休業取得率	32.9% (2023年度)	50.7% (2024年度)	85.0%	
1-6	ふくやまワーク・ライフ・バランス認定企業数	137件 (2023年度)	139件	300件	実績値は 累計で記載

### 【進捗把握指標】

施策No.	指標	計画策定時の現状値	2025年度(令和7年度)実績値	備考
1-1	合計特殊出生率	1.51 (2022年)	1.37 (2024年)	
1-1	理想のこどもの数	(就学前保護者) 3人 43.6% 2人 40.0% (小学生保護者) 3人 39.2% 3人 41.7% (2023年度)	—	次回調査 2028年度
1-2	「保護者の子育てが地域で支えられている」と思う人の割合	(就学前保護者) 38.4% (小学生保護者) 42.9% (2023年度)	—	次回調査 2028年度
1-4	児童における痩身傾向児の割合(小6)	(男子) 2.3% (女子) 3.1% (2023年度)	—	次回調査 2029年度
1-5	人口10万人当たりの医師数(産科・産婦人科医師)	9.4人 (2022年度)	10.0人 (2024年度)	次回調査 2026年度
1-5	人口10万人当たりの医師数(小児科医師)	12.1人 (2022年度)	10.5人 (2024年度)	次回調査 2026年度
1-7	理想のこどもの数を持たない理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」を挙げる保護者の割合	(就学前保護者) 82.2% (小学生保護者) 78.5% (2023年度)	—	次回調査 2028年度
1-8	こどもと楽しめる場所で物足りないと感じている場所として「近所の公園」と回答した人の割合	(就学前保護者) 38.0% (小学生保護者) 36.4% (2023年度)	—	次回調査 2028年度

## 基本方針2 「こども・若者への取組」の評価指標

### 【成果指標】

施策 No.	指標	計画策定時の現状値	2025年度(令和7年度)実績値	目標値	備考
2-1	自己肯定感に係る質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合	(小学校) 87.5% (中学校) 85.2% (2023年度)	(小学校) 89.0% (中学校) 87.3%	前年度以上 (2026年度)	
2-1	コミュニティ・スクールの導入率	18.6% (2024年度)	42.2%	100% (2026年度)	
2-2	学校図書館を週1回以上利用している児童・生徒の割合	29.0% (2023年度)	25.7%	60.0% (2026年度)	
2-4	登下校時の交通事故発生件数	59件 (2023年度)	56件	前年度を下回る (2026年度)	
2-5	市内大学生の地元就職率	27.7% (2023年度)	24.7%	32.5% (2025年度)	

### 【進捗把握指標】

施策 No.	指標	計画策定時の現状値	2025年度(令和7年度)実績値	備考
2-1	「自分の将来について考えたことがある」こどもの割合	82.1% (2024年度)	84.8%	
2-2	自分の周りにはこどもや若者の遊びや体験活動の機会・場所が十分にあると思うと回答した割合	75.8% (2024年度)	72.2%	
2-3	安心できる場所の数が1つ以上あるこどもの割合	99.1% (2024年度)	99.9%	
2-3	ここに居たいと感じる「居場所」がある若者の割合	94.0% (2024年度)	—	次回調査 2028年度
2-4	30歳未満の不慮の事故での死亡者数	5人 (2022年)	5人 (2024年)	
2-6	50歳時点の未婚率	(男性) 26.9% (女性) 16.2% (2020年)	—	次回調査 2025年
2-6	「いずれ結婚するつもり」と考えている未婚者の割合	72.9% (2015年度)	73.0%	
2-7	「こどもは権利の主体である」と思うこどもの割合	86.0% (2024年度)	86.9%	

## 基本方針3 「援助を必要とするこども・若者、子育て家庭への取組」の評価指標

### 【成果指標】

施策 No.	指標	計画策定時の現状値	2025年度(令和7年度)実績値	目標値	備考
3-1	乳幼児期に体罰や暴言、ネグレクト等によらない子育てをしている親の割合	(1歳6か月児) 89.1% (3歳児) 75.9% (2023年度)	(1歳6か月児) 83.9% (3歳児) 76.2%	(1歳6か月児) 89.0%以上 (3歳児) 75.0%以上	
3-2	ひとり親家庭等こどもの生活・学習支援事業受講者の高校進学率	100% (2022年度)	100%	100%	

3-3	生活保護世帯に属するこどもの大学等進学率	40.0% (2023年度)	30.8%	50.0%	
3-3	生活保護受給者等就労自立促進事業の就職率	43.0% (2023年度)	48.7%	50.0%	
3-3	住居確保給付金受給者の就職率	57.1% (2023年度)	44.4%	60.0%	
3-4	保育所等訪問支援事業所の設置数	16か所 (2023年度)	17か所	19か所 (2026年度)	
3-5	不登校出現率	(小学校) 2.68% (中学校) 8.10% (2023年度)	(小学校) 2.92% (中学校) 7.87% (2024年度)	前年度以下 (2026年度)	

【進捗把握指標】

施策 No.	指標	計画策定時の現状値	2025年度（令和7年度）実績値	備考
3-1	児童虐待相談件数	1,264件 (2023年度)	1,270件	
3-2	ひとり親世帯の貧困率（中央値1/2未満の割合）	(小5保護者) 45.8% (中2保護者) 46.8% (2023年度)	—	次回調査 2028年度
3-2	電気、ガス、水道料金の未払い経験（ひとり親世帯）	(小5保護者) 電気料金 11.5% ガス料金 11.5% 水道料金 10.7% (中2保護者) 電気料金 8.7% ガス料金 8.7% 水道料金 6.3% (2023年度)	—	次回調査 2028年度
3-2	食料又は衣服が買えない経験（ひとり親世帯）	(小5保護者) 食料 32.0% 衣服 32.9% (中2保護者) 食料 27.8% 衣服 38.0% (2023年度)	—	次回調査 2028年度
3-2	こどもがある世帯の世帯員で頼れる人がいないと答えた人の割合（ひとり親世帯）	(小5保護者) 重要な事柄の相談 9.2% いざという時のお金の援助 16.0% (中2保護者) 重要な事柄の相談 9.5% いざという時のお金の援助 16.7% (2023年度)	—	次回調査 2028年度
3-2	ひとり親家庭の親の就業率	(小5保護者) 母子世帯 91.5% 父子世帯 100% (中2保護者) 母子世帯 87.2% 父子世帯 100% (2023年度)	—	次回調査 2028年度

3-2	ひとり親家庭の親の正規の職員・従業員の割合	(小5保護者) 母子世帯 53.4% 父子世帯 90.0% (中2保護者) 母子世帯 43.6% 父子世帯 71.4% (2023年度)	—	次回調査 2028年度
3-3	こどもの貧困率（中央値1/2未満の割合）	(小5保護者) 10.6% (中2保護者) 9.8% (2023年度)	—	次回調査 2028年度
3-3	生活保護世帯に属するこどもの高校等進学率	89.2% (2023年度)	88.9%	
3-3	生活保護世帯に属するこどもの高校等中退率	3.3% (2023年度)	6.8%	
3-3	電気、ガス、水道料金の未払い経験	(小5保護者) 電気料金 4.6% ガス料金 2.7% 水道料金 3.1% (中2保護者) 電気料金 2.8% ガス料金 2.2% 水道料金 2.3% (2023年度)	—	次回調査 2028年度
3-3	食料又は衣服が買えない経験	(小5保護者) 食料 13.1% 衣服 14.6% (中2保護者) 食料 12.9% 衣服 16.4% (2023年度)	—	次回調査 2028年度
3-3	子どもがある世帯の世帯員で頼れる人がいないと答えた人の割合（中央値1/2未満）	(小5保護者) 重要な事柄の相談 5.1% いざという時のお金の援助 18.8% (中2保護者) 重要な事柄の相談 5.4% いざという時のお金の援助 16.1% (2023年度)	—	次回調査 2028年度
3-5	30歳未満の自殺者数	12人 (2022年)	13人 (2024年)	
3-5	DV・離婚に関する相談件数	486件 (2023年度)	587件	
3-5	「自分はヤングケアラーに当てはまる」と思う人の割合	(小5) 1.3% (中2) 1.0% (2023年度)	—	次回調査 2028年度

○ 主な事業の実績

基本方針1 子育て家庭への取組

(1) 妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援の充実

No.	事業名	事業概要	2025年度(令和7年度)実績
1	ネウボラセンターの整備	「福山ネウボラ」をさらに強化・充実していくため、若者や少子化の対応を含めた機能や体制整備を行い、ネウボラセンターを設置します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2025年(令和7年)9月、天満屋福山店8階に子育て・若者相談、保育所入所等手続の機能を集約するとともに、屋内遊戯場の新規・拡充整備を行った。2026年(令和8年)4月には天満屋福山店7階を活用し、ひとり親や虐待防止などの専門的支援機能を集約するとともに、若者が交流・活動できる居場所としてユースセンターを開設する。</li> <li>●実績値(2025年(令和7年)9月6日から2026年(令和8年)3月末) <ul style="list-style-type: none"> <li>遊び・交流の場の利用者数: 89,170人(屋内遊戯場及びえほんの国)</li> <li>子育て相談件数: 1,396件</li> <li>若者相談件数 : 109件</li> <li>手続件数 : 718件</li> </ul> </li> </ul>
2	ネウボラ相談窓口「あのね」の運営(利用者支援事業)	妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない相談や助言を行うとともに、母子保健事業、子育て支援事業等が利用できるよう、必要に応じて関係機関等とともに継続的な支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内13か所に設置しているネウボラ相談窓口「あのね」において、妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援を行った。</li> <li>●福山ネウボラ相談窓口「あのね」: 13か所</li> <li>ふくやま子育て応援センター</li> <li>ネウボラ推進課</li> <li>保育所・認定こども園: 6か所</li> <li>拠点支所: 4か所</li> <li>ぬまくま子育て支援センター</li> <li>●実績値 <ul style="list-style-type: none"> <li>相談件数 : 13,456件</li> </ul> </li> </ul>
3	子育て応援プレゼント事業	妊婦の不安が高まる妊娠後期(28週目以降)に、不安等の軽減を図るため、ネウボラ相談窓口「あのね」で産前相談を行うとともに、育児用品をプレゼントします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内13か所に設置している福山ネウボラ相談窓口「あのね」において、妊娠28週以降の妊婦とその家族を対象に産前相談を行った。安心して妊娠期を過ごし、出産を迎えられるよう、支援プランを提案するとともに、育児用品をプレゼントした。</li> <li>●実績値 <ul style="list-style-type: none"> <li>件数: 2,102人</li> </ul> </li> </ul>
4	こんにちは赤ちゃん訪問事業	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を対象に、その家庭を訪問し、育児の不安や悩みを聞き、子育て支援の情報を提供します。支援が必要な家庭に対しては、関係機関等と連携を図り、継続した支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家庭訪問時に、予防接種や健診の受け方、相談窓口の紹介を行うとともに、赤ちゃんの絵本の紹介や「あかちゃんといっしょのおはなし会」などの情報提供を行った。</li> <li>●実績値 <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問件数 2,714件(96.2%)</li> <li>[キラキラサポーター(子育て支援ボランティア): 765件、育児家庭訪問員 : 1,014件、保健師: 935件]</li> </ul> </li> </ul>
5	産後ケア事業	産後ケアを必要とする出産後1年未満の産婦・乳児を対象に、産科医療機関等において、宿泊や日帰り又は訪問で母体の体調管理、育児に関する相談等を行います。(宿泊は支援が必要であると市が認めた人)2025年度から、日帰り型の対象者の	<ul style="list-style-type: none"> <li>●産科医療機関・助産所で実施した。</li> <li>●実績値 <ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊型: 10件(45日)</li> <li>日帰り型(2時間): 392件(658日)</li> <li>日帰り型(7時間): 189件(312日)</li> <li>訪問型: 207件(307日)</li> </ul> </li> </ul>

		要件を緩和します。また、日帰り型の利用区分（2時間利用）を追加するとともに、多胎の場合の利用可能日数を追加します。（7日→10日）	
6	産前・産後サポート事業	産前及び産後1年未満の妊産婦を対象に、子育て経験者等が家庭を訪問し、話し相手となり、妊娠・出産・子育てに関する情報提供等を行います。	●キラキラサポーター（子育て支援ボランティア）による訪問支援を行った。 ●実績値：1件（1日）
7	産婦健康診査	出産後間もない時期の産婦を対象に、産後うつや新生児への虐待の予防を図るため、健康診査の助成を行います。	●2021年（令和3年）4月から助成を実施。産後2か月未満の産婦の健康診査に係る費用の一部または全額を公費負担した。エジンバラ産後うつ質問票（EPDS）等を実施した。 ●実績値 助成件数：4,801件
8	すこやか育児サポート事業	妊婦を対象に、産婦人科医と保健師が連携し、育児不安の軽減を図ります。	●妊娠中から支援の必要な方に対して、産婦人科と保健師が連携し支援した。 ●医療機関からの紹介件数：93件
9	妊娠・子育て支援事業	妊婦や乳幼児を対象に、出産・育児等の見通しを立てるための面談等を通じて必要な支援につなぐ伴走型相談支援を行うとともに、妊婦等を対象に、経済的支援を行います。	●妊娠期から出産・子育て期まで安心して過ごせるよう「妊娠・子育て支援金」を支給した。 ●実績値 妊娠支援金：2,775件 出産応援金：31件 子育て支援金：2,868件 子育て応援金：479件
10	SNS や子育て支援アプリやホームページによる情報発信	市公式 LINE や電子版母子健康手帳としての機能を持つ福山市子育て支援アプリ「あのねナビ」を通じて、市の子育て支援情報や子育てに関するイベント、遊び場の情報発信に取り組みます。 2025年度は、こどもの月齢や年齢に合わせた情報発信を強化します。	●市の子育て支援情報や子育てに関するイベント情報について、アプリを通じて継続的に情報発信を行った。 ●実績値 ユーザー数：9,664人 （2026年（令和8年）3月末時点）

## （2）地域における子育て支援サービスの充実

No.	事業名	事業概要	2025年度（令和7年度）実績
1	ふくやま子育て応援センター「キッズコム」	子育て家庭を対象に、交流の場や子育て関連情報の提供、相談支援や出産・子育てに関する講習等の実施及びネウボラ相談窓口「あのね」と連携した育児総合相談を行います。また、ファミリー・サポート・センター事業において子育て家庭を支援します。	●妊娠期から安心して子育てができる相談場所を知らせたり、講座やひろばで、保護者同士をつなげることで悩みなどの意見交換ができ、育児不安が軽減された。 ●実績値 地域子育て支援拠点事業に関する件数 相談件数 1,134件 情報提供数 706件
2	地域子育て支援拠点事業	子育て家庭を対象に、ふくやま子育て応援センター「キッズコム」や、地域の拠点保育施設が連携して、遊び場や子育て情報関連情報の提供、相談支援や子育てに関する講座を実施します。	●実績値 実施場所：36か所 延べ利用者数：154,918人
3	子育て支援ボランティア事業	家庭訪問等により保護者の話し相手や育児支援ができる、キラキラサポーター（子育て支援ボランティア人材）を確保するため、養成講座やフォローアップ研修を開催します。	●全小学校区に1人以上のキラキラサポーター（子育て支援ボランティア）を登録（養成）することを目標に、養成講座を実施した。 ●2025年度（23期生）の養成により新規登録者数19人、

			<p>全登録者数 227 人となり、69 小学区中、68 小学校区が登録済み。(養成講座：全 8 回開催)</p> <p>●フォローアップ研修や学区保健師との情報交流会を行った。 (フォローアップ研修：全 2 回開催、適宜グループ交流会を実施)</p>
4	ファミリー・サポート・センター事業	<p>子育てを応援してほしい人と子育てを応援したい人が会員となって子育てを地域で支える活動を実施しています。 協会会員の確保に努めるとともに、ネウボラ相談窓口などと連携し、多様化するニーズに対応しながら地域の子育てを支援します。</p>	<p>●活動内容を丁寧に把握し、相互援助活動がスムーズにいくよう努めた。また、交流館等ハポスター掲示を依頼し会員確保に努めた。</p> <p>●2026 年(令和 8 年) 3 月末時点 会員数          依頼会員 844 人          協力会員 184 人          両方会員 82 人</p> <p>●実績値          延べ活動件数：2,137 件          〈内訳〉(延べ人数)          低学年： 422 人          高学年： 659 人          未就学：1,056 人</p>

### (3) 保育所その他の施設での保育サービスの充実

No.	事業名	事業概要	2025 年度(令和 7 年度)実績
1	公立保育施設の保育士の確保	保育士資格保有者のうち、保育職未経験者や離職中の復職希望者を対象に、雇用形態等のニーズを踏まえた就労支援や保育現場に関する情報発信のため、お仕事説明会を公立保育施設で開催します。	●実績値 第 1 回：8 月 7 日 (参加者数 12 人 就労者数 3 人) 第 2 回：11 月 13 日 (参加者数 7 人 就労者数 1 人)
2	保育士インターンシップ事業	地方で暮らし、働くことに関心を持つ都市部在住の潜在保育士等を対象に、市内の保育施設での職場体験を提供します。	●実績値 参加者数：6 人 受入れ施設数：5 施設
3	保育現場魅力発信事業	備後圏域の中高生を対象とした保育体験等を実施し、保育業務の魅力ややりがい等を発信します。	●実績値 参加者数：28 人
4	保育士等就労支援事業費補助	市内の保育施設で勤務を開始する潜在保育士等を対象に、雇用条件に応じて支援金を支給します。	●実績値 常勤職員(20万円) 28人 非常勤職員(10万円) 46人 転入加算(20万円) 8人
5	保育士等復職支援事業	保育士等の相談を受け、保育施設とのマッチングを行う人材を配置し、きめ細やかな復職等の支援を行います。	●実績値 新規登録者数：57 人 採用決定者数：28 人
6	保育体制強化事業	保育士の業務負担軽減のため、私立保育施設が雇用する保育環境の整備などを行う保育支援者の雇い上げに要する経費の一部を補助します。	●実績値 保育体制強化事業費補助支給施設数：47 か所
7	保育補助者雇上強化事業	保育士の業務負担軽減のため、私立保育施設が雇用する保育業務を補助する保育補助者の雇い上げに要する経費の一部を補助します。	●実績値 保育補助者雇上強化事業費補助支給施設数：59 か所
8	一時預かり事業	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった場合に、保育施設等で一時的に預かり、保育	●実績値 実施か所：123 か所(自主事業を含む) 〈内訳〉

		を行います。	保育所（市立） 43か所 保育所（私立） 14か所 認定こども園（市立） 2か所 認定こども園（私立） 46か所 地域型保育事業（私立） 17か所 いくたす（私立） 1か所
9	延長保育事業	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、保育施設等の通常の利用時間以外の時間帯に保育を行います。	●実績値 実施か所：146か所（自主事業を含む） 〈内訳〉 保育所（市立） 43か所 保育所（私立） 18か所 認定こども園（市立） 2か所 認定こども園（私立） 59か所 地域型保育事業（私立） 24か所
10	休日保育事業	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、日曜・祝日の保育を行います。	●実績値 実施か所：4か所 〈内訳〉 ふくやま子育て応援センター分室（市立）：1か所 認定こども園（私立）：3か所
11	入所制度の充実	保育士の職場復帰に向けた支援や兄弟姉妹が同一施設に入所できるよう、入所制度を充実します。	●保育士特別入所やきょうだい特別入所などを継続して実施した。
12	夜間保育事業	保護者の就労形態の多様化等に対応するため、夜間における保育を行います。	●実績値 実施か所 保育所（私立）：1か所 （開所時間）午後10時～午後12時
13	（仮称）あけぼのこども園の整備（実施設計等）	老朽化し、耐震性が不足しているあけぼの幼稚園・手城幼稚園をあけぼの保育所と統合し保護者ニーズの高いこども園として整備を行います。	●実施設計が完了した。
14	湯田複合化施設の整備（基本設計等）	湯田幼稚園と湯田保育所を統合した認定こども園と、神辺老人福祉センターの機能を集約した湯田交流館を複合化した施設を整備します。	●基本設計がおおむね完了した。
15	病児・病後児保育事業（施設型）	病気の状態（回復期を含む。）にある児童を対象に、集団保育等が困難な場合に医療機関や保育施設に付設された専用スペースで一時的に預かります。	●実施施設 医療機関：3か所 橘高クリニック、いぶき小児科、福山市民病院 保育施設：1か所 こどもえん つくし ●実績値 延べ利用者数：993人
16	病児・病後児保育事業（訪問型）	病児・病後児保育事業（施設型）を補完することを目的に、訪問型（ベビーシッター派遣）での病児・病後児保育を行います。	●実績値 登録者数：305人（2025年度新規登録者数：130人） 延べ利用者数：82人 利用時間数：535.5時間
17	乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）	未就園児を対象に、保育施設等の空き定員等を活用し、就労要件等を問わず時間単位で柔軟に利用できる預かり事業を行います。	●実績値 実施か所：26か所 〈内訳〉 保育所（市立） 1か所 保育所（私立） 2か所 認定こども園（私立） 16か所 地域型保育事業（私立） 4か所 幼稚園（私立） 3か所 登録者数：548人 延べ利用者数：3,583人 延べ利用時間数：7,105時間

18	医療的ケア児保育事業	医療的ケア児の受入環境整備のため、看護師等の専門職員の配置などを行います。	<p>●実績値 受入れ施設数：7か所 〈内訳〉 保育所（市立） 6か所 認定こども園（私立） 1か所</p> <p>●実績値 受入れ人数 保育所（市立） 10人 認定こども園（私立） 1人</p>
19	スマート保育の実施（市立保育施設等）	保育士の業務負担軽減や保護者の利便性向上を図るため、こどもの登降園管理や保護者との連絡をデジタル化し、タブレットなどのICT機器を活用したスマート保育を行います。	<p>●実績値 実施か所：52か所 〈内訳〉 保育所 43か所 認定こども園 2か所 幼稚園 7か所</p>

#### （４）乳幼児期・学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実

No.	事業名	事業概要	2025年度（令和7年度）実績
1	乳幼児健康診査	疾病、障がいの早期発見及び支援、心身の健全な発育・発達等を促すとともに、親の育児不安を解消するため、乳幼児の健康診査を行います。 （1か月児、4か月児、1歳6か月児、3歳児が対象）	<p>●乳児一般健康診査（1か月児含む）、4か月児健康診査は委託医療機関で個別健診として実施し、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査はすこやかセンター等で集団健診として実施した。</p> <p>●実績値 ・1か月児健康診査 対象者数：2,830人 受診人数：2,734人（96.6%） ・4か月児健康診査 対象者数：2,777人 受診人数：2,649人（95.4%） ・1歳6か月児健康診査 対象者数：2,810人 受診人数：2,738人（97.4%） ・3歳児健康診査 対象者数：3,199人 受診人数：3,142人（98.2%）</p>
2	予防接種	こどもの疾病予防のため、予防接種の勧奨、啓発及び情報提供を行います。	<p>●市内の保育所・幼稚園・こども園・小学校等を通して対象の幼児・児童等に対して麻しん風しん、日本脳炎、2種混合、HPVワクチンの接種を呼びかける啓発チラシを配布した。</p> <p>●麻しん・風しん予防接種の第1期及び第2期それぞれの未接種者、HPVワクチン接種未完了の高校1年生相当の女子に対し、接種を勧奨する個別通知を実施した。</p> <p>●市民課及び各支所等を通して、出生・転入手続き時に予防接種の種別・スケジュールを記載したクリアファイルを配布した。</p>
3	思春期の保健対策	小・中・高校生の児童・生徒を対象に、喫煙・飲酒防止教育、薬物防止教育、性教育を行い、正しい知識の普及につなげるとともに、「性の多様性」に関する啓発及び相談窓口の周知を行います。	<p>●デートDV予防啓発講座 実施校（市内高等学校・大学）：10校</p> <p>●性の多様性に関するパネル展 実施校（市内）：7校（小学校5校、中学校2校）</p> <p>●喫煙・飲酒防止教育、薬物防止教育を全中学校及び義務教育学校で実施した。</p> <p>●喫煙・飲酒等防止教育</p>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募小・中学校に対し、ふくやま健康・食育市民会議（フクイク 21）の団体関係者等から講師を派遣し、講義を行った。 小学校：15校（実施回数 15回） 参加者数：849人 中学校：12校（実施回数 13回） 参加者数：2,103人</li> <li>●学習指導要領に基づき、喫煙・飲酒防止教育、薬物乱用防止教育を全中学校及び義務教育学校で実施した。また、性暴力の被害者にも加害者にもならないよう「生命の安全教育」を全小中学校、義務教育学校で実施した。</li> </ul>
4	食育推進事業	<p>こどもに望ましい食習慣を身に付けるため、離乳食講習会やヘルシーメニューコンテスト、食育講演会、保育所及び学校給食試食会、交流館等でのこども料理教室を開催するとともに、「食育の日（毎月 19 日）」「ふくやま地産地消の日（毎月 29 日）」の啓発活動等を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●食生活改善推進員によるこども料理教室の開催 実施回数：56回 参加者数：1,318人</li> <li>●ヘルシーメニューコンテストの開催 応募総数：1,334作品</li> <li>●「食育の日」「ふくやま地産地消の日」の啓発活動 実施回数：8回 参加者数：661人</li> <li>●食育講演会の開催 参加者数：227人</li> <li>●栄養スキルアップ講座の開催 実施回数：4回（うち2回は、ふくやま SUN 産地見学会と同時開催） 参加者数：110人</li> <li>●学校給食試食会 実施回数：69回（幼稚園8回、小学校61回） 参加者数：1,941人</li> <li>●市立保育所・認定こども園での食育推進事業 ・「ふくやま地産地消の日」の啓発 毎月 29 日に近い火曜日または、金曜日に地産地消メニューを実施した。 また、「ふくの日メニュー」の資料を作成し、啓発した。 実施施設：毎月 45 施設 ・食事だよりによる食に関する情報発信 実施施設：毎月 45 施設 ・スマート保育による毎日の給食に関する配信 実施施設：45 施設 ・保育施設等での食育指導 実施施設：22 施設</li> </ul>

(5) 周産期・小児医療提供体制の充実

No.	事業名	事業概要	2025 年度（令和 7 年度）実績
1	周産期母子医療センター開設に向けた医療機器等整備	2026 年度の周産期母子医療センター開設に先立ち、必要となる医療機器等を整備します。	●2026 年（令和 8 年）8 月の周産期母子医療センター開設に向け、超音波診断装置、ベッドサイドモニタなど必要となる医療機器を整備した。
2	医療版ワーケーション実施事業（救急医療体制確保事業）	初期救急医療機関に出務する小児科医を確保し、小児救急医療の充実に取り組むとともに、備後圏域の観光等を通じた魅力発信を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●県外から、リピーター含め延べ 12 名の医師が参加し、福山市医師会運営の福山夜間小児診療所で勤務した。</li> <li>●長期休暇（ゴールデンウィーク、お盆、年末年始）を中心に 28 日間の勤務があり、福山夜間小児診療所に出</li> </ul>

			務している地域の小児科医の負担を軽減するとともに、備後圏域の魅力発信につながった。
3	周産期医療学講座	周産期及び産婦人科医療に関わる医師の確保・育成や、持続可能な周産期及び産婦人科医療提供体制を構築するため、岡山大学へ周産期医療学講座を引き続き設置します。	<p>●岡山大学に設置した寄付講座により、福山市民病院が取り組む総合周産期母子医療センター開設に向けた支援を行ったほか、市内中学校2校で周産期医療に関する講演会を開催した。</p> <p>●中学生を対象とした HPV ワクチン並びに性教育における出張講演 場所：幸千中学校、済美中学校 講師：大平 安希子</p>
4	小児急性疾患学講座	小児救急医療・周産期医療に関わる医師の確保・育成や持続可能な小児救急医療体制を構築するため、岡山大学へ小児急性疾患学講座を引き続き設置します	<p>●岡山大学に設置した寄付講座により、福山市民病院が取り組む総合周産期母子医療センター開設に向けた支援を行ったほか、小児救急医療に関する市民講座を開催した。 ※市民講座については「小児救急医療に関する啓発」へ記載</p>
5	小児医療体制の充実	在宅当番医や夜間小児診療所、小児救急医療拠点病院による休日・夜間の救急医療体制を確保します。岡山大学寄付講座、広島県、関係機関等と連携し、小児医療体制の充実、維持を図ります。	<p>●休日昼間の一次救急を在宅当番医療機関により実施した。</p> <p>●毎夜間の小児一次救急を福山市医師会の運営により、福山夜間小児診療所で実施した。</p> <p>●小児夜間救急（二次救急） 対応状況：2,238件</p>
6	小児救急医療に関する啓発	小児救急に係る適正受診等について、広報紙、ホームページによる啓発及びこんにちは赤ちゃん訪問事業で啓発グッズの配布を行います。また、岡山大学寄付講座と連携し、市民講座を開催します。	<p>●市広報及びホームページなどで、適正受診について啓発を行った。</p> <p>●こんにちは赤ちゃん訪問事業や幼児健診等の機会に啓発チラシ、小児救急情報を掲載したマグネットシート（新デザイン）を配付した。</p> <p>●岡山大学に設置した寄付講座により、小児救急医療に関する講演会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小児のアナフィラキシーとエピペン対応について」 講師：津下充</li> <li>「医療的ケア児を取り巻く状況と多職種連携について」 講師：鷲尾洋介 参加者数：90人</li> <li>・「もしもの災害にそなえて アレルギーのある子どもを守る準備」講師：津下充</li> <li>「赤ちゃんの成長発達についてー成長を見守る際のソボクな疑問ー」講師：鷲尾洋介 参加者数：102名</li> </ul>

(6) 仕事と子育ての両立支援（共働き・子育ての推進）

No.	事業名	事業概要	2025年度（令和7年度）実績
1	グリーンな企業プラットフォーム	市内の企業を対象に、企業の働きやすい職場環境づくりに向け、セミナーや勉強会などを開催し、実践を促します。 2025年度は、グリーンな企業の好事例等を市内外の若者向けに情報発信するとともに、企業情報を収集・分析し、産業支援機関等を通じて企業の掘り起こしを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●グリーンな企業チャレンジ宣言数 2026年（令和8年）3月末：846社</li> <li>●「働きやすい職場部会」を立ち上げ、所属する先進企業（8社）が実践を開始した。</li> <li>●生産性向上支援などの補助事業を実施した。</li> <li>●働きやすい職場環境づくりなどに関するセミナーやワークショップを開催した。</li> <li>●メディアを活用し、市内外の若者向けに情報を発信した。</li> </ul>
2	男性育児休業取得推進事業費補助	男性育児休業取得率50%を達成した市内の中小企業等を対象に、奨励金を支給します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実績値 交付決定企業：49社</li> </ul>
3	男性育児休業の啓発	フリーペーパーに、育児休業を取得した男性の体験記である「イク男さんの育休奮闘記」を連載します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●備後圏域の子育て情報誌「びんまる」に、「実録！これでいいのだイク男さん奮闘記」を掲載した。</li> <li>●2025年（令和7年）7月号まで「育パパ情報コラム」を掲載し、8月号からは、男性育児休業取得者（イク男さん）が所属する企業の働き方改革に関する取組を紹介している。</li> </ul>
4	子育て応援ウィーク	働き方改革と従業員の意識改革の両輪で、子育て世帯を社会全体でサポートし、希望の子育てができるまちの実現につなげるため、連携企業とのイベントや講演会を開催します。 2025年度は、特設サイトを活用し、情報発信や応援企業・連携企業の取組を発信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て応援ウィーク期間（2025年（令和7年）11月3日～11月23日）中、連携企業・団体が子育てに関わる意識を醸成する取組や親子で参加できるイベント等を実施した。 連携企業・団体数：30件 参加人数：1,043人 （参加人数は、取組報告未提出企業を除く。）</li> <li>●子育てに積極的に関わる著名人を呼んで、市主催のトークショーを実施した。 応募人数：420人 参加人数：550人 ※当日参加者を含む。</li> <li>●子育て応援ウィークの対象イベントとして、ふくやまワーク・ライフ・バランス EXPO を実施した。 EXPO全体の参加者数：879人</li> </ul>
5	仕事と介護・育児の両立支援	仕事と介護・育児の両立支援の必要性を啓発するため、チェックシートを作成し、備後圏域内企業に配布します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2026年（令和8年）1月に市ホームページへ公開し、2026年（令和8年）3月末時点で3社に配布した。</li> </ul>
6	ふくやまワーク・ライフ・バランス EXPO	企業や従業員を対象に、誰もがいきいきと働ける職場環境を実現するため、ワーク・ライフ・バランスについて学び、交流、体験してもらいイベントを開催します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2025年（令和7年）11月12日に、エフピコアリーナふくやま（サブアリーナ）で実施した。 EXPO全体の参加者数：879人</li> <li>●事例紹介ブース6社、体験ブース5社が参加した。</li> <li>●子育て応援ウィークシンポジウムでは、育児と仕事の両立をテーマとした講演や、共働き・子育ての考えを広げるパネルディスカッションを実施した。 参加者数：750人</li> <li>●男女共同参画推進表彰式を実施した。 男女共同参画推進表彰：2事業者</li> </ul>

(7) 子育てや教育に関する経済的負担の軽減

No.	事業名	事業概要	2025年度（令和7年度）実績
1	第2子以降の保育料等無償化	第2子以降の0～2歳のこどもを対象に、世帯の所得・第1子の年齢を問わず、保育施設等の利用料を無償とします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第2子の保育料無償化実施児童数：2,757人</li> <li>●多子世帯利用給付認定者数（幼稚園の預かり保育料、認可外保育施設への利用料等の実質無償化）：224人</li> <li>●通院・入院ともに0歳から中学校3年生まで</li> </ul>
2	子ども医療費助成	こどもが病院へ通院又は入院した際の、保険診療による医療費に係る自己負担分の一部を助成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一部負担金は、1医療機関につき1日500円（入院は月14日まで、通院は月4日まで）</li> <li>●受給者数：54,210人（2026年（令和8年）3月末時点）</li> </ul>
3	学校給食費の無償化の実現に向けた提言	学校給食の無償は、義務教育制度の根幹に関わる課題であり、まずは国において無償化の実現に向け議論を尽くし、早期に方針を明らかにするよう、全国市長会等を通じて強く提言していきます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国において無償化の実現に向け議論を尽くし、早期に方針を明らかにするよう、全国市長会等を通じて提言した。</li> <li>●学校給食費の抜本的負担軽減のため国が交付する「給食費負担軽減交付金」を活用し、2026年度（令和8年度）から小学校における給食費の無償化を実施するよう準備を行った。</li> </ul>

(8) 子育てにやさしい生活環境づくり

No.	事業名	事業概要	2025年度（令和7年度）実績
1	屋内遊戯場の整備	暑い日や雨の日など天候にかかわらず、こどもが遊ぶことができる屋内遊戯場を設置します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2025年（令和7年）9月に運用開始した。</li> <li>●実績値（2025年（令和7年）9月6日から2026年（令和8年）3月末） 遊び・交流の場の利用者数：89,170人（屋内遊戯場及びえほんの国）</li> </ul>
2	交流館内への屋内キッズスペース試行的設置	身近な地域において、安心・安全な環境でこどもが自由に遊べ、子育て世帯が子育ての悩みなどの情報交換ができる居場所を創出するため、交流館内にキッズスペースを試行的に設置します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て家庭やこどもの居場所、また交流館の利用促進を目的に、交流館の交流スペースや空き室などを活用し試行的にキッズスペースを設置した。</li> <li>●利用者アンケート結果 「また利用したい」98% 「使いやすくなった」87% 「普段、交流館を利用しないがキッズスペースがあるので来館した」79%</li> </ul>
3	誰もが楽しめる公園遊具整備事業	障がいのあるこどもも、ないこどもも一緒に遊び、互いの違いを理解し合うことを目的に、「インクルーシブ遊具」の整備を計画的に進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鞆中央公園 インクルーシブブランコを整備した。</li> </ul>
4	公園整備事業	福山市公園整備基本方針に基づき、子育て家庭が安心して楽しめる公園づくりをめざし、ベンチや日陰などの休憩施設の整備やボール遊びなどの地域ルールの設定支援を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●機織北公園 日陰施設を修繕した。</li> </ul>
5	公園遊具の修繕	こどもの遊び場を確保するため、地域の状況に応じて、撤去した遊具の再設置を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●公園遊具安全対策事業 実施箇所：23公園</li> </ul>
6	都市公園安全・安心の取組	福山市公園整備基本方針に基づき、乳幼児から高齢者までだれもが安心して安全に歩行等できるよう、既設公園の園路について、段差解消等のバリアフリー化を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鞆中央公園 園路や入口部分の整備した。</li> </ul>

7	子育て世帯向け住宅改修事業	市営住宅を子育て世帯向けに改修し、提供します。	●市営住宅の募集時に、専用部屋 10 世帯の改修を行った。
8	市営住宅（子育て世帯向け）の提供	住宅に困窮している子育て世帯等向けに、専用住宅を設けて提供します。	●市営住宅の募集時に、専用部屋の提供及び抽選倍率の優遇措置を行った。 ●実績値 提供世帯数：10 世帯 入居率：80%
9	こども未来づくり基金の創設	子育てしやすい・したいと思えるまちの実現に必要な経費の財源に充てるため、こども未来づくり基金を設置します。	●こども未来づくり基金を創設し、「こどもまんなか社会」の実現に取り組んだ。
10	こども未来づくり 100 人委員会の提案事業の充実に向けた取組	こども未来づくり 100 人委員会の取組を市民等に広く周知し、市民の共感・応援・提案などの意見を募集することで取組の充実を図ります。	●こども未来づくり 100 人委員会の元委員の活動を支援した。 ●実績値 支援件数：全 6 件

## 基本方針 2 こども・若者への取組

### (1) 未来を切り拓く人材を育成する教育環境の整備

No.	事業名	事業概要	2025 年度（令和 7 年度）実績																				
1	学力向上支援事業	小学校 4 年生、小学校 5 年生及び、中学校 1 年生、中学校 2 年生の児童・生徒に学習指導要領に準拠したテストを実施し、学習の定着度を踏まえ、授業改善を行います。モデル校において、基礎から発展までの習熟度別の問題等を備えた問題データベースを導入し、学力定着状況調査と連動させることにより、児童・生徒一人一人のつまずきに応じた学習支援を行います。	●福山市学力定着状況調査（国語、算数・数学）を実施し、児童生徒の学習の定着度を把握した。その結果分析をもとに、小学校教員及び中学校国語、数学教員が、こどもたちのつまずきとその要因を明らかにしたうえで、改善に向けた仮説と具体的な取組を設定したプリントを作成し、授業改善に取り組んだ。 ●こども主体の学びの充実に向け、分析データを活用した授業改善実践校等、本市の政策を具体的に研究、実践するパイロット校を指定し、授業改善に向けた取組を進めた。 ●問題データベースを活用し、授業内外において、学習支援を行った。各校で児童生徒一人一人のつまずきや実態に合わせた活用を進めた。 ●実績値 全国学力・学習状況調査正答率 40%未満の児童生徒の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>本市</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>国語</td> <td>11.9%</td> <td>12.0%</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>算数</td> <td>28.5%</td> <td>26.3%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>国語</td> <td>26.4%</td> <td>22.5%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>数学</td> <td>44.2%</td> <td>39.6%</td> </tr> </tbody> </table>			本市	全国	小学校	国語	11.9%	12.0%	小学校	算数	28.5%	26.3%	中学校	国語	26.4%	22.5%	中学校	数学	44.2%	39.6%
		本市	全国																				
小学校	国語	11.9%	12.0%																				
小学校	算数	28.5%	26.3%																				
中学校	国語	26.4%	22.5%																				
中学校	数学	44.2%	39.6%																				
2	小学校「学びづくりフロンティア校」事業	児童の学力向上につなげるため、幼保小中連携、ICT 活用、コミュニティ・スクール等を基点にした「学び」の探究に指定校が取り組み、専門家の助言も受けながら授業改善を図ります。	●「幼保小中連携」では、講師を招聘してこどもが学ぶ姿を共有し、学びの連続性について協議した。 ●「ICT 活用」では、学力調査等から分析した自校の生徒の課題改善を図るために、各教科で ICT の活用の仕方について検証・改善を行った。各パイロット校での取組をまとめ、全教職員と共有した。																				
3	学習端末の活用	児童・生徒主体の ICT 活用を進めることで、学習意欲や情報処理能力の向上につなげます。	●効果的な ICT 活用実践校を指定し、教科等の特質に応じた学習端末等の活用について検討を進めた。授業実践内容を共有し、市内の教職員が授業づくりの参考にできるようにした。																				

4	中学校「教科の専門性パワーアップ」事業	中学校の教職員を対象に、国語科、社会科、数学科、理科について、子ども・教材への理解を深めるため、外部講師の知見等を生かし、教科の本質に迫る授業実践研修を行います。 教材研究、授業実践、検証、改善を行い、PDCA サイクルを回しながら授業実践力を高めます。	●22名の教職員が外部講師の師範授業の参観を行い、授業づくりの過程について学んだ。その後、各自が教材研究、授業実践、検証、改善に取り組んだ。受講者は研究授業を行い、市内の教職員が参観・協議を行った。
5	教育相談事業（メタバースを活用した不登校支援）	(3-(5)後掲)	
6	スクールカウンセラー配置事業※県事業	(3-(5)後掲)	
7	スクールソーシャルワーカー活用事業※県事業	(3-(5)後掲)	
8	不登校児童・生徒への取組	(3-(5)後掲)	
9	フリースクール「おやまの学校」	(3-(5)後掲)	
10	コミュニティ・スクール活動支援事業	コミュニティ・スクールの目的・内容等について、教職員や保護者、地域住民に周知し、理解を深めます。また、コミュニティ・スクール導入校は、その仕組みを活用して、学校と地域、互いの現状や課題を知り、解決に向けた取組について、学校運営協議会等でさらに議論を深め、子どもたちの学びを充実させます。 2025年度は、導入校を24校追加します。(19校→43校)	●2025年度（令和7年度）は、計画通り導入校を24校追加し、合計で43校となった。学校運営協議会についても各協議会で3回の定例会を実施し、学校・地域・保護者がめざすことものにに向けて協議した。
11	（仮称）ふくやま未来大賞	若者の夢の実現に向けたチャレンジを応援するため、本市にゆかりのある若者が行う革新的・先駆的な取組を表彰します。	●（仮称）ふくやま未来大賞の実施に向け、制度設計のための調査を行った。
12	（仮称）「子ども未来館」プロジェクト	科学や技術に触れながら、楽しく学ぶことで、実社会における課題発見・解決ができる人材を育成する拠点として（仮称）子ども未来館を整備します。	●整備運営事業者選定に向けた要求水準書等の公募資料を作成した。 ●2026年（令和8年）3月30日に整備運営事業者の公募に係る公告を行った。
13	びんごキッズラボ	子どもたちを対象に、プログラミングやVRスポーツ体験、サイエンスショーなど、デジタル技術・自然科学などを体験できるイベントを行います。知的好奇心を喚起し未来に向けて挑戦する心を育むきっかけとし、（仮称）子ども未来館整備への機運醸成を図るとともに、当該施設で実施する事業の検討を行います。	●びんごキッズラボを開催した。 開催日：2025年（令和8年）11月15日 開催場所：エフピコアリーナ サブアリーナ、多目的室 来場者数：2,890人 ※入り口でのカウント 実施概要：プログラミング体験、レーザー照明デモ、出張プラネタリウム、ドローン操縦体験、VR体験、鋳造体験、プロジェクションマッピング、宇宙飛行士クイズ、昆虫観察、サイエンスショーなど
14	キャリア教育支援データベース	企業と教育機関の交流機会充実のため、チャレンジウィークやインターンシップ、企業見学の受け入れが可能な企業を検索できるデータベースを構築します。	●実績値 登録企業数：86社（2026年（令和8年）3月末時点）
15	ライフ&キャリアセミナー	高校生や大学生を対象に、参加者が福山で暮らすことの魅力を理解	●大学生向けライフ&キャリアセミナーを実施した。 日時：2025年（令和7年）10月11日

		し、生活を具体的にイメージできるようなイベントを行います。	<p>場所：イチセトウチ コワーキングスペース tovio 参加者 市内外の大学生等：11人 市内企業：3社（4人）</p> <p>●高校生向けライフ&amp;キャリアセミナーを実施した。 日時：2026年（令和8年）3月17日 対象：英数学館高等学校の2年生 参加者 対象学生：28人 参加企業：2社（2人）</p>
16	キャリア教育推進事業	<p>自校で育成する「21世紀型“スキル&amp;倫理観”」をもとに、生徒に勤労観や職業観を身につけさせるためのキャリア教育を推進します。また、職場体験で学習したことを日常生活に結びつけ、その後の生活に生かす取組を推進します。</p>	<p>●中学校及び義務教育学校の生徒を対象とした職場体験「チャレンジ・ウィークふくやま」を23校（生徒2,472人、933事業所）で実施したほか、企業からのミッションを題材とした探究学習等、各学校の状況に応じて取組を行った。</p>
17	望ましい学校教育環境の整備	<p>子どもたちを取り巻く教育環境が複雑化・多様化する中、これまでの学校再編の成果と課題を踏まえ、本市がめざす学びを実現する学校教育環境の在り方を検討し、新たな基本方針を策定します。</p>	<p>●学校教育環境検討委員会を開催し、同委員会から「すべてのこどもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現」に向け、その基盤となる学校教育環境について、めざす方向性と具体策の提言をまとめた答申を受けた。 委員：19人 開催：2025年（令和7年）3～9月（計6回） ※答申：10月</p> <p>●学校教育環境検討委員会からの答申を踏まえ、今後の学校再編や施設整備など、環境整備に係る基本的な考え方と具体的な取組方針を示す「福山市学校教育環境に関する基本方針（案）」を作成し、パブリックコメントを実施した（2026年（令和8年）2～3月）。</p>
18	国際教育交流推進事業（万博国際交流プログラム）	<p>大阪・関西万博を契機に自治体と万博参加国の国際交流の推進につながる「万博国際交流プログラム」を活用し、リトアニア共和国との教育交流を推進し、本市とリトアニア共和国の交流促進につなげます。</p>	<p>●市内中学生80名が大阪・関西万博のリトアニア共和国ナショナルデーセレモニーとバルトパビリオンでの交流事業に参加した。</p>
19	デジタル採点システム	<p>採点業務の効率化を図ることにより、教職員が授業づくりにあてる時間を確保します。</p>	<p>●全中学校及び義務教育学校（後期課程）にデジタル採点システムを導入した。各校では、定期テストや小テストなど、実態に応じた活用を進め、削減した時間を、教材研究、事後指導の準備、部活動、教育相談などに充てた。</p>
20	日本語指導の充実	<p>日本語指導が必要な外国人児童・生徒に対する指導体制の充実を図るため、日本語初期指導教室を開設するとともに、日本語指導担当者の指導力向上のための研修を行います。また、外国人児童生徒等指導体制の推進に係る協議会において効果的な教育の在り方について引き続き議論します。</p>	<p>●日本語初期指導教室を開設するとともに、日本語指導力の向上や、外国人児童・生徒の支援体制の充実に向けた研修を2回実施した。</p> <p>●協議会において、効果的な教育の在り方について議論を行った。 ・初期指導教室開設に向けた協議 ・初期指導教室の授業参観を通じた指導助言・協議</p>
21	給食費公会計化による徴収業務の効率化	<p>公会計化により、教職員の業務負担の軽減、保護者の利便性の向上、徴収・管理業務の透明性の向上を図ります。</p>	<p>●学校給食費の公会計化により、給食費の徴収管理業務に関する教職員の業務負担軽減のほか、徴収・管理業務の透明性が向上した。</p> <p>●保護者ポータル機能の活用により、学校給食費の納付・未納履歴の確認をデジタル化したことや、給食費の</p>

支払方法の増により、保護者の利便性が向上した。

(2) 多様な遊びや体験活動の推進

No.	事業名	事業概要	2025年度（令和7年度）実績
1	ばらのまち福山国際音楽祭事業	オーケストラの鑑賞を通して、豊かな感性や想像力などを育むため、ばらのまち福山国際音楽祭のコンサートへ、小学校5年生を招待します。	<p>●福山市内の小学校5年生全員を招待する「未来へつなぐ子どもたちへのコンサート」を実施し、国内外で活躍するアーティストの演奏を聴くことで、次代を担う世代の豊かな感性を育む機会を創出した。</p> <p>●公演後のアンケートでは、「たくさんの楽器が重なって美しい音色が聞けた。」「音楽をたくさん聴きたい。」等の感想があり、芸術文化に触れる有益な機会となった。</p> <p>●実績値            入場者数：4,133人            参加校数：70校（市内小学校69校、神石高原町1校）</p>
2	オーケストラ福山定期	リーデンローズでの生の音楽鑑賞を通して、豊かな感性や想像力などを育むため、オーケストラ福山定期の年10回の公演のうち4回に福山市、府中市及び神石高原町の中学校2年生をオーケストラの定期公演に招待します。また、有料6回の公演においても、格安の児童・生徒割引を設定し、中学校2年生以外の児童・生徒にも良質な芸術・文化に触れられる機会を提供します。	<p>●福山市・府中市・神石高原町の中学校42校を招待し、中学2年生の生徒に対して、リーデンローズの優れた音響を体感してもらい、生のオーケストラの演奏に触れてもらう機会を設けることができた。</p> <p>●公演後のアンケートでは、「初めてのクラシック鑑賞だったが、とてもよかった」、「またクラシックを聴きに行きたいと思った」という声が多く見られ、若年層へのクラシックの更なる普及・定着につながったと思われる。</p> <p>●実績値            ・オーケストラ福山定期中学生招待公演入場者数            2025年（令和7年）4月21日            Vol.7 京都市交響楽団中学生招待公演：1,095人            2025年（令和7年）9月22日            Vol.9 広島交響楽団中学生招待公演：1,183人            2025年（令和7年）10月14日            Vol.10 京都市交響楽団中学生招待公演：1,261人            2026年（令和8年）2月6日            Vol.11 広島交響楽団中学生招待公演：1,349人            合計：4,888人</p>
3	管弦楽の巡回演奏会	市立小・中学校等での音楽鑑賞の機会を充実させ、子どもたちに豊かな感性を育成するため、管弦楽の巡回演奏会を行います。	<p>●年間2回に時期を分けて巡回演奏会を開催し、それぞれの学校で鑑賞した。</p> <p>・1回目：7月            開催校数 9校 鑑賞者数 1,292人</p> <p>・2回目：11月            開催校数 9校 鑑賞者数 1,916人</p>
4	10歳の君へ ようこそ美術館プロジェクト	絵画等の芸術作品の鑑賞を通して、豊かな創造力・想像力や思考力などを育むため、ふくやま美術館へ、小学校4年生を招待します。	<p>●年間を通して71校3,928人がふくやま美術館を見学し、さらにそのうち36校1,583人の4年生児童が福山城博物館を見学した。</p> <p>●児童アンケート結果            ①作品のよさや面白さを感じた：97.3%            ②作品を見たり説明を聞いたりして、新しい発見があった：94.8%            ③作品を見たり説明を聞いたりして、今までとちがった絵の見方ができた：94.3%            ④また美術館に行ってみようと思った：91.5%            ※今まで美術館に行ったことがない児童：39.8%</p>
5	福山夢・未来開花プロジェクト	小学校5年生から高校生までを対象	●夢の応援コース、未来づくりコースの2コースに分

	プロジェクト	に、福山への愛着を深め、「実行する力」「やり切る力」「未来を創る力」を育成するため、福山や社会のためにやってみたいことを自分たちの手で実践する「未来づくりコース」と夢の実現のため同じ夢をもつ仲間を集め活動する「夢の応援コース」で構成し、次代を担う若者に福山の未来づくりや夢の実現に向けてチャレンジする機会を提供します。	<p>かれ活動を実施した。</p> <p>●実績値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者 未来づくりコース 10 人（応募者数 18 人） 夢の応援コース（支援対象者）3 人（応募組数 247 組）</li> <li>・主な活動 7月 プレゼンテーション研修の受講、グループ活動 9月 最終審査会、中間報告会 9月～3月 専門家による体験会、テーマに関する講演会等</li> </ul>
6	家庭や地域における読書活動の推進	本との出会いによって、こどもの人生がより豊かなものとなるよう、家庭、地域、学校・園等、子どもたちが生活するあらゆる場で本に触れる環境を整備し、一人一人の発達に応じた読書活動が行われるよう「福山市子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づき、こどもの読書活動を推進します。	<p>●「福山市子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づき、あかちゃんといっしょのおはなし会、団体への貸出、えほんの国などでの講座等、こどもに本を届ける様々な事業を実施した。</p> <p>●実績値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あかちゃんといっしょのおはなし会 開催数：166 回 参加組数：578 組</li> <li>・団体への貸出 団体数：304 団体</li> <li>・講師派遣 派遣回数 40 件</li> </ul>
7	えほんの国等運営事業	地域の子育て家庭が、絵本やおはなしの世界に親しむ場を設定することにより、親子のふれあいによる情緒の安定を図り、創造性やコミュニケーション能力等を育み、こどもの育ちを支援します。	<p>●毎日（午前・午後）2 回の読み聞かせ、ワークショップ・司書講座・コンサート・人形劇等を行った。</p> <p>●実績値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数：延べ 49, 148 人</li> </ul>
8	保育施設等への移動図書館車「わくわく号」の訪問	2025 年 6 月から運用を開始する移動図書館車（軽自動車）で、保育施設等を訪問し、絵本の読み聞かせや本の貸出し等を行い、こどもの読書活動を推進します。	<p>●申込のあった保育施設等を訪問し、読み聞かせや、絵本や図鑑を中心に本の貸出しを行った。</p> <p>●実績値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問施設数：29 施設</li> <li>貸出冊数：2, 749 冊</li> </ul>
9	保育施設等の絵本の部屋の整備	こどもの多様な興味や好奇心を刺激し、様々な知識や知恵、想像力や考える力を育てるため、保育施設等に、就学前のこどもと保護者が、多様な本と出会い親しむことができる部屋等を整備します。	<p>●各施設で絵本コーナーを整え、日常に絵本に触れる機会を意識して作るなど環境の整備を進めた。</p> <p>●実績値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整備数：19 施設</li> </ul>
10	学校図書館環境の充実	こどもが自分に合った学び方を選択しながら学ぶ意欲や知的好奇心を発揮できるよう、学校図書運営委員会で協議し、学校の実態にあった蔵書整備、環境づくりに取り組みます。	<p>●学校の実態に合った蔵書整備に努めた。</p> <p>●実績値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書数：709, 761 冊</li> </ul>
11	（仮称）「子ども未来館」プロジェクト	(2-(1)再掲)	
12	びんごキッズラボ	(2-(1)再掲)	
13	公園整備事業	(1-(8)再掲)	
14	公園遊具の修繕	(1-(8)再掲)	
15	都市公園安全・安心の取組	(1-(8)再掲)	

(3) こども・若者の居場所づくり

No.	事業名	事業概要	2025年度（令和7年度）実績
1	居場所づくり支援事業	地域団体が取り組むこども食堂等の居場所づくりを支援するため、運営費等の補助を行います。 2025年度は、補助金の対象団体にプレーパーク等を追加するとともに、対象経費に食材料費を追加します。	●地域団体が取り組むこども食堂などの運営又は新規開設に係る経費を補助するとともに、活動に対する助言や意見交換会を実施した。  ●実績値 補助金交付団体数：9団体
2	こどもの居場所づくり事業（放課後子ども教室の推進）	放課後等に小学校の余裕教室や交流館等を利用して、地域住民ボランティアである協働活動サポーターの支援のもと、安心・安全な居場所づくりを行います。	●放課後などに小学校の図書室等を利用し、地域住民である協働活動サポーター（ボランティア）の指導のもと交流事業などを実施し、安全・安心な居場所づくりを行った。  ●実績値 実施学区数：32か所
3	放課後児童クラブの運営	授業終了後に、小学校の余裕教室やプレハブ教室等を利用して適切な遊びや生活の場を提供します。 2025年度は、新たに5つの放課後児童クラブの開設時間延長を実施するとともに、4月より5つの放課後児童クラブの運営を民間に委託します。	●新たに5つの放課後児童クラブの開設時間延長を実施した。

(4) こども・若者の安心・安全な暮らしの確保

No.	事業名	事業概要	2025年度（令和7年度）実績
1	地域安全マップ普及推進事業	地域における犯罪を未然に防止するため、地域安全マップの作成を推進します。	●福山大学で犯罪心理学を専攻している学生と協働で実施した。  ●実績値 実施回数：2回（新涯小学校・西小学校）
2	通学路の安全対策	「福山市通学路交通安全プログラム」に基づき、2年に1回、道路管理者、警察、教育委員会、学校及び地域関係者が、市内一斉に合同点検を実施し、安全対策を講じています。関係機関・団体等と連携して、組織的・継続的に、通学路の安全確保に努めます。	●2025年度（令和7年度）は、2024年度（令和6年度）合同点検で抽出した危険箇所に対して、ドライバーへの注意喚起を行う路面標示などの対策を実施した。また、合同点検以降、新たに危険箇所として対策が必要な箇所については、随時合同点検を実施し、対策に取り組んだ。  ●対策の進捗状況については、年3回（8月末・12月末・3月末）ホームページで公表するとともに、各学校のホームページ等でも周知に努めた。
3	非行防止活動の推進	関係機関等と連携した会議、研修会の実施をはじめ、街頭啓発や講演会等を通して、非行防止活動を推進します。	●不登校・ひきこもりをテーマに、青少年育成員、中央青少年育成員、ふくやま・ヤングサポートネットワーク関係者、不登校・ひきこもり等に悩む本人や家族等を対象にした講演会を実施した。 【講演会】 日 時：2025年（令和7年）11月22日 13時30分～15時00分 テーマ：専門的な知見と日常の工夫を交えた、ひきこもりへの支援 参加者数：107人  ●中央青少年育成員と合同で各駅合同街頭補導を実施した。 実施場所 福山駅、松永駅、神辺駅、大門駅

(5) 若者の就労支援

No.	事業名	事業概要	2025年度(令和7年度)実績
1	びんごクリエイターズラボ	若者の地元定着に向け、業種や世代を超えた交流の場を提供することで、圏域内の高校や大学、企業等の魅力をこどもたちに発信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若者の地元定着に向けて、圏域内の高校や大学、企業等の魅力をこどもたちに発信するイベント(びんごクリエイターズラボ)を開催した。</li> <li>●実績値 実施日時:2025年(令和7年)11月3日 10時~16時 場所:iti SETOUCHI 出展者数:企業・クリエイター 21組、 高校・大学 7組 来場者数:延べ700人</li> </ul>
2	高校生及び高校生保護者向けの合同企業・職業説明会	高校生やその保護者を対象に、地元企業への就職促進につなげるとともに生徒の職業観の醸成支援を図るため、地元の多様な企業や業務内容を知る機会として合同企業・職業説明会を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高校生やその保護者向けに、合同企業・職業説明会を行った。</li> <li>●実績 実施日:2026年(令和8年)1月21日 場所:福山ニューキャッスルホテル 参加企業:50社 参加人数:285人</li> </ul>
3	インターンシップ関連経費補助	市内中小事業者等を対象に、インターンシップに係る経費の一部を補助します(物品購入や採用コンサルの活用、コンテンツ構築等)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●インターンシップに係る経費の一部を補助した。</li> <li>●実績値 構築費申請:2件 交通費等申請:1件</li> </ul>
4	新卒向け合同企業説明会等	福山地方雇用対策協議会と連携し、新卒、中途採用向け合同企業説明会及び企業と学校の交流会等を開催します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新卒向け合同企業説明会を実施した。 実施日:2026年(令和8年)3月5日、6日 場所:福山ニューキャッスルホテル 参加企業:3月5日 115社 3月6日 110社 参加人数:3月5日 132人 3月6日 106人</li> <li>●中途向け合同企業説明会を実施した。 実施日:2025年(令和7年)10月29日 場所:ポートプラザ日化 参加企業:60社 参加人数:171人</li> <li>●企業と学校の交流会を実施した。 実施日:2025年(令和7年)7月15日 場所:福山ニューキャッスルホテル 参加企業:72社 参加校数:44校</li> </ul>
5	看護職員確保対策事業(看護学生地元就職支援セミナー)	看護学生を対象に、地元医療機関への就職意欲向上のため、就職相談会を開催します。 学生が備後圏域内の医療機関に対して、対面で相談・質問できる場を提供することで、市内及び備後圏域内の就業看護職員の増加を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●看護学生就職相談会を実施した。</li> <li>●実績値 参加者数:68人 (参加者のうち保護者同伴3人、保護者数3人) 参加医療機関数:41施設</li> </ul>
6	福山市未来創生人材育成奨学ローン返済補助(通学支援事業費補助)	市内に居住しながら市外の大学等に通学する際の通学費用として借入した奨学ローンの返済額を補助します。在学中には利子を、卒業後に市内就職・市内居住した場合には元金及び利子の返済費用を補助することで、在学中に市内企業への理解や本市への愛着を深め、卒業後に市内の企業に就職すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>●補助対象者認定について 認定を受けると、広島銀行へ奨学ローン借入を申し込むことができる。 申請者:28名 認定者:28名(審査の結果、対象者全員を認定) ローン契約締結:23名(※辞退等5名)</li> <li>●補助金交付について 奨学ローンの返済額について補助金を交付するもの。</li> </ul>

		を支援します。	対象者数：37名 申請者数：35名（※辞退2名）
7	奨学金返済支援制度導入促進事業補助金	従業員に対する奨学金返済支援制度を企業等が創設した場合に、返済支援に係る経費を補助します。	●奨学金返済支援に係る経費を補助した。 ●実績値 交付決定企業数：9社
8	キャリア教育支援データベース	(2-(1)再掲)	
9	ライフ&キャリアセミナー	(2-(1)再掲)	
10	グリーンな企業プラットフォーム	(1-(6)再掲)	
11	ふくやまワーク・ライフ・バランス EXPO	(1-(6)再掲)	

### (6) 結婚を希望する若者への支援

No.	事業名	事業概要	2025年度（令和7年度）実績
1	出会いの場創出事業	結婚を希望する人を対象に、趣味などを通じたイベントやマッチング率を向上させるためのスキルアップセミナーを開催します。	●結婚を希望している人が適当な相手とめぐり合えるよう、民間のノウハウを活用し、若者の価値観や趣味、仕事を通じたマッチングイベントを開催した。 ●実績値 実施回数：4回（うち2回は2部制） 参加者数：男性160人、女性165人 計325人 マッチング：68組
2	ふくやまカップル・新婚応援パスポート事業	2年以内に結婚予定のカップル、婚姻届提出後2年以内の夫婦を対象に、結婚を応援する機運を醸成するため、市内の協賛店で特典サービスを受けることができるパスポートを市公式LINE等で交付します。	●実績値（2026年（令和8年）3月末時点） 登録者数：1,260人（630組） 協賛店舗数：76店舗
3	ライフ&キャリアセミナー	(2-(1)再掲)	

### (7) こども・若者の権利を守る環境づくり

No.	事業名	事業概要	2025年度（令和7年度）実績
1	こども・若者が権利の主体であることの周知啓発	「こども基本法」や「こどもまんなか社会」に関する理解を市民に浸透させていくため、出前講座の実施など、地域や学校等で学ぶ機会を創出します。	●こども基本法の内容や福山市の現状と課題、こども計画に位置づく事業の出前講座を実施したほか、えほんの国において関連書を集めた特別コーナーを設置するなど周知啓発に取り組んだ。 ●実績値 出前講座 実施か所：2か所 参加人数：77人
2	男女平等学習	男女共同参画の視点に立った指導を通じて、児童に人権尊重、男女相互理解と協力の重要性の意識を醸成し、性差に関する偏見や固定的性別役割分担意識の解消を図るため、学習教材を活用します。	●男女共同参画教育参考資料「みんななかま」を活用し、市内小学校に向けて、男女共同参画の理解を促進した。 ●実績値 市内小学校での活用率：94.4%
3	こども・若者の意見聴取事業	こども・若者が気軽に意見を述べる場を設け、施策・事業へ反映します。	●小中学生アンケートやワークショップなどにより、こども・若者の意見を聴取し、市の施策の参考とするともに、結果を市ホームページで公表した。

## 基本方針3 援助を必要とするこども・若者、子育て家庭への取組

### (1) 児童虐待防止対策等の更なる強化

No.	事業名	事業概要	2025年度(令和7年度)実績
1	児童虐待防止対策事業(こども家庭センター)	子育て家庭や妊産婦等を対象に、在宅支援を中心として、ソーシャルワークによる継続的な指導・助言、幼児の発達に関する相談支援や児童虐待に関する専門的な相談対応及び関係機関等との連絡調整を行い、母子保健機能と一体的な運用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育て家庭や妊産婦等を対象に、在宅支援を中心として、ソーシャルワークによる継続的な指導・助言、幼児の発達に関する相談支援や児童虐待に関する専門的な相談対応及び関係機関等との連絡調整を実施した。</li> <li>●実績値 児童虐待相談・通告件数：1,270件</li> </ul>
2	子育て世帯訪問支援事業	家事・子育て等に不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を対象に、支援員が訪問し、不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、養育環境等を整え、児童虐待等を未然に防ぎます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●家事・子育て等に不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を対象に、支援員が訪問し不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施した。</li> <li>●実績値 延訪問件数：338件</li> </ul>
3	児童虐待防止等ネットワーク活動の推進	福山市児童虐待防止等ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)を中心に、行政と関係機関等が情報の共有及び連携を図りながら、児童虐待の未然防止、早期発見及び対応を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福山市児童虐待防止等ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)において、行政と関係機関、団体が連携して、児童虐待の防止、早期発見、早期対応に取り組んだ。</li> <li>●実績値 実務者会議：年4回(6月、11月、1月、2月) 個別ケース検討会議：83回 広島県東部こども家庭センターとの連絡会議(毎月)：12回 ネウボラ相談窓口との連携</li> </ul>

### (2) ひとり親家庭等への支援

No.	事業名	事業概要	2025年度(令和7年度)実績
1	養育費確保支援事業費補助	ひとり親家庭の生活の安定のため、公正証書の作成などに係る費用など、養育費の確保に向けた支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ひとり親家庭の生活の安定やこどもの福祉増進のため、養育費の請求に必要な公正証書の作成や弁護士費用の一部を補助した。</li> <li>●実績値 公正証書作成費用補助金 31件 弁護士費用補助金 5件 養育保証契約費用補助金 1件</li> </ul>
2	学習支援事業費補助	経済的課題を抱えるひとり親家庭等の中学生・高校生を対象に、進学のための受験料及び模試費用の一部を補助します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●経済的課題を抱えるひとり親家庭等の中学生・高校生を対象に、進学のための受験料及び模試費用の一部を補助した。</li> <li>●実績値 補助件数：中学生11人、高校生4人</li> </ul>
3	ひとり親家庭等こどもの生活・学習支援事業	ひとり親家庭等を対象に、貧困の連鎖の防止等を図るため、特有の課題への対応や、基本的な生活習慣の習得、学習支援などを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ひとり親家庭等の中学生・を対象に基本的な生活習慣の習得や学習支援を実施した。</li> <li>●実績値 参加者数：165人(うち中学生119人、高校生46人) 高校進学率：100%</li> </ul>
4	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	ひとり親家庭を対象に、就職や転職により、安定した雇用につなげるため、高等学校卒業程度認定試験合格に向けた講座の受講費用の一部を補助します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高等学校卒業程度認定試験合格のための講座受講について、受講修了時給付金や合格時給付金で受講費用の一部を支給する。</li> <li>●実績値</li> </ul>

			相談件数：0件 支給件数：0件
5	ひとり親家庭自立支援給付金事業	ひとり親家庭の親を対象に、自立を支援するため、就労に有効な資格取得に係る費用の一部を補助します。	●教育訓練給付金 助成件数：15件  ●高等技能訓練促進費 助成件数：29件  ●入学支援修了一時金 助成件数：8件
6	ひとり親家庭等支援のワンストップ化（ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業）	ひとり親家庭等の就労確保や生活安定等のため、ひとり親家庭自立支援員が悩みの相談や支援を、ワンストップで対応します。	●ひとり親家庭自立支援員を配置し、ひとり親家庭等の就労確保や生活安定等の支援を行った。  ●実績値 自立相談：1,362件
7	母子・父子自立支援プログラム策定事業	児童扶養手当受給者を対象に、家庭の状況やニーズに応じて、自立支援プログラムを策定し、きめ細やかな自立・就労支援を行います。	●ひとり親家庭自立支援員（4名）により、ニーズに応じた自立支援プログラムを策定した。  ●実績値 策定件数：48件

### (3) こどもの貧困対策

No.	事業名	事業概要	2025年度（令和7年度）実績
1	就学援助制度	経済的な理由で就学が困難と認められる児童・生徒の保護者を対象に、就学に必要な費用の一部を助成します。	●学校給食費、学用品費、修学旅行費、入学準備費などの費用の一部を援助した。 認定者：4,395人  ●入学準備費を入学前に支給した。 認定者：704人
2	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	(3-(2)再掲)	
3	ひとり親家庭自立支援給付金事業	(3-(2)再掲)	
4	ひとり親家庭等支援のワンストップ化（ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業）	(3-(2)再掲)	
5	母子・父子自立支援プログラム策定事業	(3-(2)再掲)	
6	こども健全育成支援事業	生活困窮世帯等の児童・生徒を対象に、家庭・教育支援員等が、ケースワーカーや関係機関等と連携して、居場所を兼ねた学習の場を提供し、学習習慣の定着や学習意欲の向上を図ります。 また、高校中退防止や卒業後の進学及び就職に向けたアウトリーチ支援を行います。	●家庭児童相談員や教育アドバイザーを配置し、課題を抱える児童・生徒とその保護者に対し、助言指導を行った。また、不登校等の課題を抱える児童生徒に対し、居場所を兼ねた学習支援を行った。  ●個別支援の状況 支援実人数：34人  ●居場所を兼ねた学習支援事業の状況 開設回数：79回 延べ参加人数：998人  ●こどもの生活・学習支援の状況 参加実人数：11人（うち中学生9人、高校生2人）
7	ネウボラ相談窓口「あのね」の運営（利用者支援事業）	(1-(1)再掲)	

8	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者を対象に、様々な悩みについて相談を受け、個々の状況に応じた包括的な支援方法を検討し、自立に向けた支援を行います。	●生活困窮者を対象に、様々な悩みについて相談を受け、相談者の生活状況に合わせた支援を行った。また、2025年度（令和7年度）から住まいの相談支援員を配置し、住まいに関する相談窓口を明確化した。
9	生活困窮者・被保護者家計改善支援事業	相談者の家計管理能力の向上を図るため、相談者とともに「家計再生プラン」等を作成し、生活の再生に向けての意欲を高めるとともに、必要な情報の提供を行います。	●生活に困窮している方や生活保護受給者に対し、生活困窮者自立支援センター（すまいる・ねっと・ワーク福山）が中心となり、家計の立て直しや自立に向けた支援を行った。
10	住居確保給付金の支給（家賃補助・転居費用の支援）	離職等により住宅を失った又は失うおそれが高い生活困窮者を対象に、一定期間、家賃相当額を支給します。 2025年度から、収入が著しく減少し、家計改善のため、転居により家賃負担等を軽減する必要がある生活困窮者を対象に、家賃が低廉な住宅への転居費用を支給します。	●離職者等であって就労能力及び就労意欲がある人のうち、住宅を喪失している人又は、喪失するおそれのある人に対して、住宅費を支給し、住宅及び就労に向けた支援を行った。 新規支給決定件数：14件、就職件数：9件 ●2025年度（令和7年度）から家計改善のための家賃が低廉な住宅への転居費用の支援について事業を拡充した。 相談件数：23件、申請件数：0件

#### （4）障がい児支援・医療的ケア児等への支援

No.	事業名	事業概要	2025年度（令和7年度）実績
1	障がい福祉サービス等の充実	障がいのある人が地域で安心して生活できるよう、児童発達支援センターをはじめとした通所サービスや、居宅サービス等の提供体制の充実を図ります。	●児童発達支援センターをはじめとした通所サービスや、居宅サービス等を実施した。 ●実績値 児童発達支援：1,537人 ※引き続き総量規制を行っている。 放課後等デイサービス：3,266人 ※引き続き総量規制を行っている。 保育所等訪問支援：43人 居宅訪問型児童発達支援：1人 (2026年（令和8年）1月末利用実人数)
2	こども発達支援センターの運営	発達障がい又はその疑いのある未就学児及び受診歴のある小学生を対象に、地域連携拠点機関として備後圏域の7市2町で共同運営する「こども発達支援センター」において、診断に基づいた医療的支援を継続的に行えるよう、保育施設等と連携を図ります。 2025年度は、児童精神科の診察日を週3日から週4日に拡充します。	●発達の課題や特性のあるこどもに対する、専門的な相談、診療、訓練等を行い、利用されたこどもたちが身近な地域においても継続的な支援が受けられるよう、保育施設や小学校等との連携を行った。 ●実績値 相談：624人 初診：707人 再診：3,609人 合計：4,940人
3	医療的ケア児の通学支援事業	公立小・中学校等に在籍し、保護者送迎により通学している通学中に医療的ケアが必要な児童・生徒を対象に、介護タクシー等の車両に訪問看護ステーションから派遣された看護師が同乗し、通学中の医療的ケアを行います。 2025年度は、利用回数の上限を48回から268回に拡充します。	●通学中に医療的ケアが必要な児童に対して、試行実施を行った。 ●実績値 対象者4人中、2人が利用 利用回数：383回
4	短期入所	障がい者（児）を対象に、自宅において介護が一時的に困難になった場合などに、短期間施設に入所し、夜間も含め施設で入浴や排せつ、食事の介護などを提供します。障	●障がい者（児）を対象に、自宅において介護が一時的に困難になった場合に、短期間施設に入所し、夜間も含めて施設で入浴や排せつ、食事の介護等の支援を行った。

		がい者支援施設などにおいて実施する福祉型と、医療機関などにおいて実施する医療型の2種類があります。	●実績値 利用者数：280人（内、児童38人） （2026年（令和8年）1月末利用実人数）
5	日中一時支援事業	日中において、一時的に見守りなどが必要な障がい者（児）を対象に、見守りや日中活動の場を提供します。	●日中に一時的に見守りなどが必要な障がい者（児）に対して、見守りや日中活動の場の提供を行った。 ●実績値 利用者数：256人（内、児童94人） （2026年（令和8年）1月末利用実人数）
6	医療的ケア児医療機関等体制整備事業	医療的ケア児が、病院から在宅へ移し身近なかかりつけ医で必要な医療を受けることができるよう、大学や医師会等とのワーキンググループを立ち上げ、ガイドブックを作成するなど医療提供体制を構築します。	●ワーキンググループを開催して、医療従事者を対象としたガイドブックを策定するとともに、福山小児科医会とともに講演会を開催した。 ・2025年（令和7年）7月、10月、2026年1月にワーキンググループ開催（計3回） ・2026年（令和8年）1月「医療的ケア児支援ガイドブック」を策定 ・2026年（令和8年）3月ガイドブック周知のための講演会を開催：参加者106人

(5) 悩みや不安を抱えるこども・若者、子育て家庭への支援

No.	事業名	事業概要	2025年度（令和7年度）実績
1	青少年育成自立支援事業	ひきこもりがちで、社会との関係が希薄な若者が、自信を取り戻し、社会への一歩を踏み出すことができるよう、社会活動への参加を促す「社会体験活動プログラム」を実施し、若者の自立に向けた支援を行います。	●社会体験活動プログラム 開催回数：38回 （2025年（令和7年）6月～2026年（令和8年）3月） 申込者数：12人 延べ参加者数：252人 ●家族相談会 0回 参加なし ●就労支援プログラム（職場体験） 参加者数：3人（1人6日間）
2	ひきこもり対策事業	ひきこもり相談窓口「ふきのとう」や関係課による相談、ひきこもり家族教室・家族交流会、ひきこもり相談支援関係課連絡会議の開催、相談支援者や市民を対象とした講演会を開催します。	●「ひきこもり」に対する理解を促進するとともに、ひきこもり状態の人やその家族が、早期に相談することで、適切な支援につなぐことができるよう取り組んだ。 ●実績値 【ひきこもり専門相談】 実施回数：12回 相談件数：14件 【ひきこもり講演会】 参加者数：123人（うち福山市民は82人） 【ひきこもり家族教室】 実施回数：2回（2回1コース） 参加者数：延34人 【ひきこもり家族交流会】 実施回数：12回 参加者数：延53人 【ひきこもり相談支援関係課連絡会議】 実施回数：1回
3	教育相談事業（メタバースを活用した不登校支援）	インターネット上の仮想空間を利用し、授業等を実施することで、学校内外の専門機関等につながるよう児童・生徒を支援します。	●延べ11人の児童生徒がメタバースを活用した。メタバース上で児童生徒は、学習を行ったり、様々なサークル活動に参加した。他者とコミュニケーションをとることができるようになったり、放課後登校以外で登校できた児童生徒もいた。
4	スクールカウンセラー配置事業※県事業	臨床心理に関する専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを配置し、教育相談体制の充実を図り、不登校等の未然防止や早期解決をめざします。	●市内全ての小中学校及び義務教育学校へスクールカウンセラーを派遣し、児童生徒、保護者及び教職員からの相談にのり、不登校やいじめ、友人関係等の多岐にわたる課題の解決に取り組んだ。 ●実績値

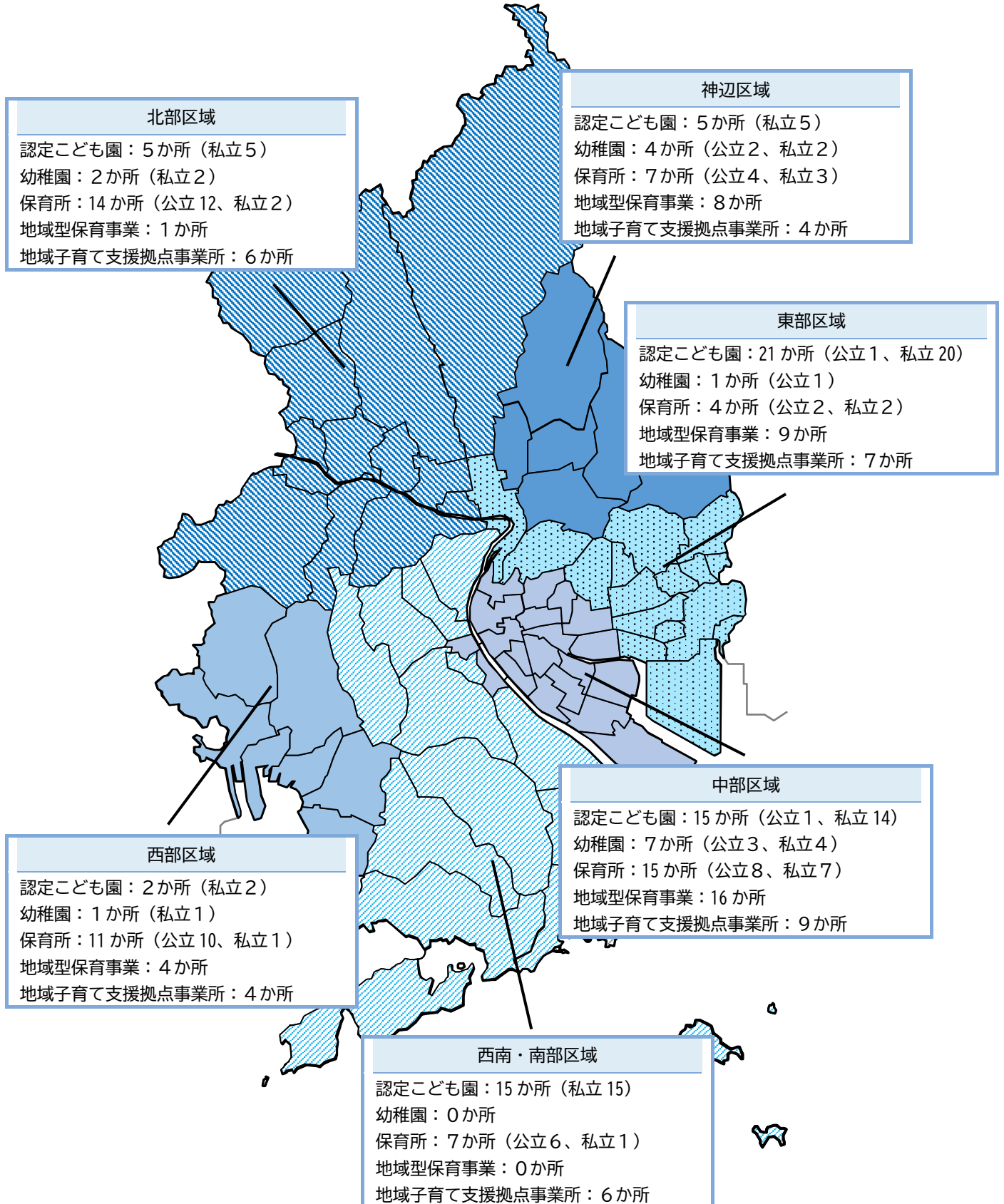
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーへの相談人数（延べ人数） 児童生徒：2,041名 保護者：1,177名 教職員：3,759名</li> </ul>
5	スクールソーシャルワーカー活用事業※県事業	生活環境改善などが必要な家庭を対象に、7中学校区の小中学校に家庭、地域、学校の連携・協力を支援するスクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関等と連携した効果的な支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内7中学校区へスクールソーシャルワーカーを配置し、経済状況等、生活環境に課題のある児童生徒の家庭等に対して支援を行った。 支援を行った児童生徒数：370名</li> </ul>
6	不登校児童・生徒への取組	<p>児童・生徒一人一人が安心して生活できるよう、校内外フリースクールの拡充などの多様な居場所づくりを進めるとともに、不登校への組織的な対応、校区の小中学校の連携などの教育相談体制の充実を図ります。</p> <p>2025年度は、フリースクールかがやきの支援員を増員するとともに、校内フリースクールの設置校を拡充します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福山市フリースクール「かがやき」、校内フリースクール「きらりルーム」等において、支援員の増員及び拡充をすることで、不登校等児童生徒に、個に応じた学習や体験活動等による支援の充実を図った。 かがやき：3か所（中央、東部、西部） きらりルーム：11校（東中学校、城南中学校、城東中学校、中央中学校、誠之中学校、神辺中学校、幸千中学校、神辺西中学校、曙小学校、新涯小学校、多治米小学校）</li> <li>●広島県教委による「不登校SSR推進校事業」を活用し、学習支援等による不登校の未然防止及び不登校等児童生徒の社会的自立に向けた支援の強化・充実に取り組んだ。</li> <li>●市内小中学校・義務教育学校へ配置したスクールカウンセラーによる相談活動、福山市教育相談センターでの教育相談活動等を実施した。</li> <li>●教育委員会内に、不登校支援チームを設置し、どこにも繋がっていない児童生徒について、学校や関係機関と連携しながら適切な支援につなげるための取組を行った。</li> </ul>
7	フリースクール「おやまの学校」	山野の豊かな自然環境を生かし、地域と連携して取り組むフリースクール「おやまの学校」を定期開催します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域と連携し、山野の豊かな自然環境を生かした体験的な活動を実施し、不登校児童生徒が、安心して過ごせる場所で、意欲を発揮できるよう支援した。</li> <li>●実績値 開催回数：11回（月に1回程度） 延べ参加人数：88人</li> </ul>
8	DV・離婚等の相談事業	DV・離婚等の相談に対応し、状況に応じて関係機関等と連携して、支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実績値 DV・離婚の相談件数：587件</li> </ul>
9	ヤングケアラーの啓発・サポート	ヤングケアラーに関するリーフレットの配布や出前講座の実施により、認知度を高めるとともに、様々な悩みや不安を抱えるこども・若者の相談を受け、適切な支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学校にヤングケアラーの疑いがある児童生徒の報告を求め、状況を把握し、必要に応じて支援した。</li> <li>●ネウボラ推進課職員がヤングケアラー研修を受講した。</li> <li>●出前講座でヤングケアラーの啓発を実施した。</li> <li>●要保護児童対策地域協議会に対して、県の講師を招いて研修を実施した。</li> </ul>
10	子育て世帯訪問支援事業	(3-(1)再掲)	
11	子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）	保護者の疾病や疲労、仕事等により、家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合や保護者のレスパイトが必要な場合に、児童養護施設や乳児院にお	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施か所：5か所 ・ショートステイ：5か所 福山乳児院（2歳未満児） こぶしヶ丘学園（2歳以上児） 里親（原則18歳未満）</li> </ul>

	<p>いて児童の養育等や親子での入所を支援します。</p> <p>2025 年度から、親子入所利用に対応し、経済的な理由から緊急一時的に利用が必要な親子を受け入れ、自立へ向けた支援を行います。</p>	<p>三美園（2歳以上児）          エスポワール（親子入所）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トワイライトステイ：1か所</li> <li>こぶしヶ丘学園（2歳以上児）</li> </ul> <p>●利用状況：190人 977日／年          （内親子入所 1世帯（2人）32日（2人×16日）含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ショートステイ</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>福山乳児院</td> <td>11人</td> <td>62日</td> </tr> <tr> <td>こぶしヶ丘学園</td> <td>171人</td> <td>845日</td> </tr> <tr> <td>里親</td> <td>6人</td> <td>38日</td> </tr> <tr> <td>エスポワール</td> <td>2人</td> <td>32日</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トワイライトステイ</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>こぶしヶ丘学園</td> <td>11人</td> <td>11日</td> </tr> </table>	福山乳児院	11人	62日	こぶしヶ丘学園	171人	845日	里親	6人	38日	エスポワール	2人	32日	こぶしヶ丘学園	11人	11日
福山乳児院	11人	62日															
こぶしヶ丘学園	171人	845日															
里親	6人	38日															
エスポワール	2人	32日															
こぶしヶ丘学園	11人	11日															

## 2 事業量の見込みと確保方策について

### 区域別の子育て支援サービスの状況について

本市の2026年（令和8年）4月1日の区域別の子育て支援サービスの状況は次のとおり。



## 教育・保育の提供状況について

### ① 1号認定（認定こども園・幼稚園）

#### 【提供状況】

区分		2025年度 (令和7年度)
計画値	3～5歳人口① (人)	10,287
	利用量② (人)	3,064
	確保方策③ (人)	4,212
実績値	3～5歳人口④ (人)	10,164
	利用量⑤ (人)	2,885
	確保方策⑥ (人)	4,212
3～5歳人口比較④-① (人)		▲ 123
利用量比較⑤-② (人)		▲ 179
確保方策比較⑥-③ (人)		0
実績値比較⑥-⑤ (人)		1,327
入所(園)率⑤÷④ (%)		28.3
供給割合⑥÷⑤ (%)		146.0

#### 【提供状況の評価】

- 計画値と実績値を比較すると、3歳～5歳人口及び利用量のいずれも実績値が計画値を下回っている。
- 利用量と確保方策の実績値を比較すると、確保方策が利用量を上回っており（市域全体の供給割合：146.0%）、受け皿が確保されている。
- 1号認定での入所（園）率は28.3%と近年減少傾向にあり、要因として、女性の就業率の上昇に伴う共働き世帯が増加し、1号認定（教育）よりも2号認定（保育）の需要が高まっていることなどが考えられる。

#### 【参考：量の見込み及び確保方策の計画値】

(単位：人)

区分		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
計画値	3～5歳人口	10,287	10,156	10,023	9,891	9,759
	利用量	3,064	3,025	2,986	2,946	2,907
	確保方策	4,212	4,038	3,994	3,969	3,967

② 2号認定（認定こども園・保育所）

【提供状況】

区分		2025年度 (令和7年度)
計画値	3～5歳人口① (人)	10,287
	利用量② (人)	6,954
	確保方策③ (人)	7,720
実績値	3～5歳人口④ (人)	10,164
	利用量⑤ (人)	7,091
	確保方策⑥ (人)	7,690
3～5歳人口比較④-① (人)		▲ 123
利用量比較⑤-② (人)		137
確保方策比較⑥-③ (人)		▲ 30
実績値比較⑥-⑤ (人)		599
入所(園)率⑤÷④ (%)		69.7
供給割合⑥÷⑤ (%)		108.4

【提供状況の評価】

- 計画値と実績値を比較すると、3歳～5歳人口は実績値が計画値を下回っているものの、利用量は実績値が計画値を上回っている。
- 利用量と確保方策の実績値を比較すると、確保方策が利用量を上回っており（市域全体の供給割合：108.4%）、区域ごとで見ても全ての区域において受け皿が確保されている。
- 2号認定での入所(園)率は69.7%と、女性の就業率の上昇などから2号認定(保育)の需要が増加していることが要因と考えられる。

【参考：量の見込み及び確保方策の計画値】

(単位：人)

区分		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
計画値	3～5歳人口	10,287	10,156	10,023	9,891	9,759
	利用量	6,954	6,865	6,776	6,686	6,597
	確保方策	7,720	7,829	7,775	7,730	7,723

③ 3号認定（認定こども園・保育所・地域型保育事業）【0歳】

【提供状況】

区分		2025年度 (令和7年度)
計画値	0歳人口① (人)	2,943
	利用量② (人)	1,042
	確保方策③ (人)	1,234
実績値	0歳人口④ (人)	2,803
	利用量⑤ (人)	1,025
	確保方策⑥ (人)	1,234
0歳人口比較④-① (人)		▲ 140
利用量比較⑤-② (人)		▲ 17
確保方策比較⑥-③ (人)		0
実績値比較⑥-⑤ (人)		209
入所(園)率⑤÷④ (%)		36.5
供給割合⑥÷⑤ (%)		120.4

※ 利用量の実績値は当該年度の3月1日の0歳児入所児童数に100/120を乗じた数値

【提供状況の評価】

- 計画値と実績値を比較すると、0歳人口及び利用量のいずれも実績値が計画値を下回っている。
- 利用量と確保方策の実績値を比較すると、確保方策が利用量を上回っており（市域全体の供給割合：120.4%）、区域ごとで見ても全ての区域において受け皿が確保されている。
- 入所(園)率は36.5%と近年増加傾向にあり、要因として、育休明けの早期復帰を選択する子育て家庭の増のほか、2024年度からスタートした第2子以降の保育料無償化に伴う入所ニーズの増加などが考えられる。

【参考：量の見込み及び確保方策の計画値】

(単位：人)

区分		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
計画値	0歳人口	2,943	2,931	2,919	2,906	2,894
	利用量	1,042	1,038	1,033	1,029	1,024
	確保方策	1,234	1,247	1,240	1,236	1,235

④ 3号認定（認定こども園・保育所・地域型保育事業）【1歳】

【提供状況】

区分		2025年度 (令和7年度)
計画値	1歳人口① (人)	3,160
	利用量② (人)	1,866
	確保方策③ (人)	2,034
実績値	1歳人口④ (人)	3,004
	利用量⑤ (人)	1,784
	確保方策⑥ (人)	2,032
1歳人口比較④-① (人)		▲ 156
利用量比較⑤-② (人)		▲ 82
確保方策比較⑥-③ (人)		▲ 2
実績値比較⑥-⑤ (人)		248
入所(園)率⑤÷④ (%)		59.3
供給割合⑥÷⑤ (%)		113.9

【提供状況の評価】

- 計画値と実績値を比較すると、1歳人口、利用量及び確保方策のいずれも実績値が計画値を下回っている。
- 利用量と確保方策の実績値を比較すると、確保方策が利用量を上回っており（市域全体の供給割合：113.9%）、区域ごとで見ても全ての区域において受け皿が確保されている。
- 入所(園)率は59.3%と近年増加傾向にあり、要因としては、女性の就業率の上昇などから3号認定（保育）の需要が増加していることや第2子以降の保育料無償化に伴う入所ニーズの増加などが考えられる。

【参考：量の見込み及び確保方策の計画値】

(単位：人)

区分		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
計画値	1歳人口	3,160	3,147	3,133	3,120	3,107
	利用量	1,866	1,859	1,851	1,843	1,835
	確保方策	2,034	2,045	2,034	2,031	2,030

⑤ 3号認定（認定こども園・保育所・地域型保育事業）【2歳】

【提供状況】

区分		2025年度 (令和7年度)
計画値	2歳人口① (人)	3,326
	利用量② (人)	2,238
	確保方策③ (人)	2,311
実績値	2歳人口④ (人)	3,186
	利用量⑤ (人)	2,219
	確保方策⑥ (人)	2,308
2歳人口比較④-① (人)		▲ 140
利用量比較⑤-② (人)		▲ 19
確保方策比較⑥-③ (人)		▲ 3
実績値比較⑥-⑤ (人)		89
入所(園)率⑤÷④ (%)		69.6
供給割合⑥÷⑤ (%)		104.0

【提供状況の評価】

- 計画値と実績値を比較すると、2歳人口、利用量及び確保方策のいずれも実績値が計画値を下回っている。
- 利用量と確保方策の実績値を比較すると、市域全体では確保方策が利用量を上回っている（市域全体の供給割合：104.0%）ものの、区域ごとで見ると神辺区域では利用量が確保方策を若干上回っている（神辺区域の供給割合：99.2%）。
- 入所（園）率は69.6%と近年増加傾向にあり、要因は1歳の3号認定こどもと同様と考えられる。

【参考：量の見込み及び確保方策の計画値】

(単位：人)

区分		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
計画値	2歳人口	3,326	3,312	3,298	3,284	3,270
	利用量	2,238	2,229	2,220	2,210	2,201
	確保方策	2,311	2,345	2,332	2,329	2,328

資料 区域ごとの量の見込みと確保方策

① 2号認定（認定こども園・保育所）

■ 量の見込み及び確保方策 ■

（単位：人）

量の見込み	2025年度 （令和7年度） 【実績値】	2026年度 （令和8年度） 【計画値】	2027年度 （令和9年度） 【計画値】	2028年度 （令和10年度） 【計画値】	2029年度 （令和11年度） 【計画値】
東部	1,584	1,584	1,560	1,536	1,512
中部	1,968	2,122	2,112	2,098	2,086
北部	1,085	901	881	863	843
神辺	821	815	811	807	804
西南・南部	1,048	883	859	837	815
西部	585	560	553	545	537
全市	7,091	6,865	6,776	6,686	6,597

（単位：人）

確保方策	2025年度 （令和7年度） 【実績値】	2026年度 （令和8年度） 【計画値】	2027年度 （令和9年度） 【計画値】	2028年度 （令和10年度） 【計画値】	2029年度 （令和11年度） 【計画値】
東部	1,753	1,750	1,736	1,730	1,723
中部	2,110	2,219	2,198	2,179	2,179
北部	1,266	1,274	1,274	1,264	1,264
神辺	857	857	857	857	857
西南・南部	1,099	1,124	1,105	1,095	1,095
西部	605	605	605	605	605
全市	7,690	7,829	7,775	7,730	7,723

② 3号認定（認定こども園・保育所・地域型保育事業）【0～2歳】

【0歳】

■ 量の見込み及び確保方策 ■

（単位：人）

量の見込み	2025年度 （令和7年度） 【実績値】	2026年度 （令和8年度） 【計画値】	2027年度 （令和9年度） 【計画値】	2028年度 （令和10年度） 【計画値】	2029年度 （令和11年度） 【計画値】
東部	292	235	234	233	231
中部	276	343	342	343	345
北部	140	131	130	128	126
神辺	104	111	112	112	113
西南・南部	136	133	131	129	126
西部	77	85	84	84	83
全市	1,025	1,038	1,033	1,029	1,024

（単位：人）

確保方策	2025年度 （令和7年度） 【実績値】	2026年度 （令和8年度） 【計画値】	2027年度 （令和9年度） 【計画値】	2028年度 （令和10年度） 【計画値】	2029年度 （令和11年度） 【計画値】
東部	308	308	301	301	300
特定教育・保育施設	277	277	270	270	269
地域型保育事業	31	31	31	31	31
中部	364	373	373	372	372
特定教育・保育施設	296	305	305	304	304
地域型保育事業	68	68	68	68	68
北部	180	182	182	179	179
特定教育・保育施設	177	179	179	176	176
地域型保育事業	3	3	3	3	3
神辺	112	115	115	115	115
特定教育・保育施設	107	110	110	110	110
地域型保育事業	5	5	5	5	5
西南・南部	167	166	166	166	166
特定教育・保育施設	167	166	166	166	166
地域型保育事業	0	0	0	0	0
西部	103	103	103	103	103
特定教育・保育施設	87	87	87	87	87
地域型保育事業	16	16	16	16	16
全市	1,234	1,247	1,240	1,236	1,235
特定教育・保育施設	1,111	1,124	1,117	1,113	1,112
地域型保育事業	123	123	123	123	123

【1歳】

■ 量の見込み及び確保方策 ■

(単位：人)

量の見込み	2025年度 (令和7年度) 【実績値】	2026年度 (令和8年度) 【計画値】	2027年度 (令和9年度) 【計画値】	2028年度 (令和10年度) 【計画値】	2029年度 (令和11年度) 【計画値】
東部	431	415	412	409	407
中部	539	627	628	630	632
北部	251	219	216	213	210
神辺	196	223	224	226	227
西南・南部	236	221	217	213	208
西部	131	154	154	152	151
全市	1,784	1,859	1,851	1,843	1,835

(単位：人)

確保方策	2025年度 (令和7年度) 【実績値】	2026年度 (令和8年度) 【計画値】	2027年度 (令和9年度) 【計画値】	2028年度 (令和10年度) 【計画値】	2029年度 (令和11年度) 【計画値】
東部	470	463	455	453	452
特定教育・保育施設	434	427	419	417	416
地域型保育事業	36	36	36	36	36
中部	617	637	635	635	635
特定教育・保育施設	545	565	563	563	563
地域型保育事業	72	72	72	72	72
北部	287	291	291	290	290
特定教育・保育施設	284	288	288	287	287
地域型保育事業	3	3	3	3	3
神辺	219	213	213	213	213
特定教育・保育施設	207	207	207	207	207
地域型保育事業	12	6	6	6	6
西南・南部	261	263	262	262	262
特定教育・保育施設	261	263	262	262	262
地域型保育事業	0	0	0	0	0
西部	178	178	178	178	178
特定教育・保育施設	156	156	156	156	156
地域型保育事業	22	22	22	22	22
全市	2,032	2,045	2,034	2,031	2,030
特定教育・保育施設	1,887	1,906	1,895	1,892	1,891
地域型保育事業	145	139	139	139	139

【2歳】

■ 量の見込み及び確保方策 ■

(単位：人)

量の見込み	2025年度 (令和7年度) 【実績値】	2026年度 (令和8年度) 【計画値】	2027年度 (令和9年度) 【計画値】	2028年度 (令和10年度) 【計画値】	2029年度 (令和11年度) 【計画値】
東部	515	522	519	516	512
中部	645	718	720	721	724
北部	312	289	285	282	278
神辺	259	250	251	253	254
西南・南部	304	259	255	250	245
西部	184	191	190	188	188
全市	2,219	2,229	2,220	2,210	2,201

(単位：人)

確保方策	2025年度 (令和7年度) 【実績値】	2026年度 (令和8年度) 【計画値】	2027年度 (令和9年度) 【計画値】	2028年度 (令和10年度) 【計画値】	2029年度 (令和11年度) 【計画値】
東部	544	542	537	535	534
特定教育・保育施設	503	501	496	494	493
地域型保育事業	41	41	41	41	41
中部	678	708	706	706	706
特定教育・保育施設	599	629	627	627	627
地域型保育事業	79	79	79	79	79
北部	329	335	335	334	334
特定教育・保育施設	326	332	332	331	331
地域型保育事業	3	3	3	3	3
神辺	257	257	251	251	251
特定教育・保育施設	241	241	241	241	241
地域型保育事業	16	16	10	10	10
西南・南部	304	307	307	307	307
特定教育・保育施設	304	307	307	307	307
地域型保育事業	0	0	0	0	0
西部	196	196	196	196	196
特定教育・保育施設	172	172	172	172	172
地域型保育事業	24	24	24	24	24
全市	2,308	2,345	2,332	2,329	2,328
特定教育・保育施設	2,145	2,182	2,175	2,172	2,171
地域型保育事業	163	163	157	157	157

## 地域子ども・子育て支援事業の提供状況について

### ① 利用者支援事業

(単位：か所)

対象	全児童					
	事業内容					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	実施か所数計	13	13	13	13	13
	基本型	8	8	8	8	8
	こども家庭センター型	13	13	13	13	13
確保方策 (事業量の確保)	実施か所数計	13	13	13	13	13
	基本型	8	8	8	8	8
	こども家庭センター型	13	13	13	13	13
実績値	実施か所数計	13				
	基本型	8				
	こども家庭センター型	13				

### ② 地域子育て支援拠点事業

対象	0～5歳					
	事業内容					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	利用量(延人)	134,097	132,942	131,764	130,595	129,432
確保方策 (事業量の確保)	実施か所数	37	38	39	40	41
	【参考】 提供可能量*(延人)	159,100	163,400	167,700	172,000	176,300
実績値	実施か所数	36				
	利用量(延人)	154,918				

※ 提供可能量とは、1施設当たりの利用実績の平均値を実施か所数に乗じたもの

③ 妊婦健康診査

<b>対象</b>	妊婦					
<b>事業内容</b>	妊婦の健康の保持及び増進を図るとともに、安心・安全な妊娠出産ができるよう医療機関において、診察、検査、保健指導等を行う事業です。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
<b>量の見込み (推計値)</b>	対象人数(人)	2,943	2,931	2,919	2,906	2,894
	健診回数(回)	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0
	延受診件数(件)	38,259	38,103	37,947	37,778	37,622
<b>確保方策 (事業量の確保)</b>	延受診件数(件)	38,259	38,103	37,947	37,778	37,622
<b>実績値</b>	延受診件数(件)	43,488				

④ こんにちは赤ちゃん訪問事業(乳児家庭全戸訪問事業)

<b>対象</b>	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭					
<b>事業内容</b>	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
<b>量の見込み (推計値)</b>	訪問件数(件)	2,943	2,931	2,919	2,906	2,894
<b>確保方策 (事業量の確保)</b>	訪問件数(件)	2,943	2,931	2,919	2,906	2,894
<b>実績値</b>	訪問件数(件)	2,714				

⑤ 養育支援訪問事業

<b>対象</b>	支援が必要であると市が認めた家庭					
<b>事業内容</b>	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保する事業です。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
<b>量の見込み (推計値)</b>	訪問件数(件)	96	95	94	93	92
<b>確保方策 (事業量の確保)</b>	訪問件数(件)	96	95	94	93	92
<b>実績値</b>	訪問件数(件)	86				

⑥ 子育て世帯訪問支援事業

対象	支援が必要であると市が認めた家庭					
事業内容	家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える悩みや不安を傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防ぐことを目的とする事業です。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	訪問数(人日)	423	416	408	401	394
確保方策 (事業量の確保)	訪問数(人日)	423	416	408	401	394
実績値	訪問数(人日)	327				

⑦ 産後ケア事業

対象	ケアを必要とする、出産後1年未満の産婦及びその乳児 ただし、宿泊型は支援が必要であると市が認めた者					
事業内容	ケアを必要とする産婦及びその乳児(生後1年未満)に対して、育児に関する相談の実施、心身の休息の機会の提供などを行う事業です。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	利用者数(人)	985	981	977	972	968
確保方策 (事業量の確保)	利用者数(人)	985	981	977	972	968
実績値	利用者数(人)	1,322				

⑧ 妊婦等包括相談支援事業

対象	妊産婦及びその配偶者等					
事業内容	妊婦及びその配偶者等に対して、面談等の実施により、必要な情報提供や相談に応じ、必要な支援につなげる伴走型支援を行う事業です。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	対象人数(人)	2,943	2,931	2,919	2,906	2,894
	面談回数(回)	3	3	3	3	3
	延面談件数(件)	8,829	8,793	8,757	8,718	8,682
確保方策 (事業量の確保)	延面談回数(回)	8,829	8,793	8,757	8,718	8,682
実績値	延面談回数(回)	8,691				

⑨ 子育て短期支援事業（ショートステイ）

対象	18歳未満の児童					
事業内容	保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業です。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	利用量(延人)	180	190	200	210	221
確保方策 (事業量の確保)	利用量(延人)	235	235	235	235	235
実績値	利用量(延人)	190				

⑩ 親子関係形成支援事業

対象	親子の関係性や児童の関わり方等に不安を抱えている児童を養育する家庭					
事業内容	児童との関わり方や子育てに悩みや不安を抱える保護者及びその児童を対象に、講義やグループワーク等を通じて、児童の心身の発達の状況等に応じた相談・助言等を行うとともに、同じ悩みや不安を抱える保護者同士の交流する場を設ける等の支援を行うことで親子間における適切な関係性の構築を図ることを目的とする事業です。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	利用量(実人)	—	20	20	20	20
確保方策 (事業量の確保)	利用量(実人)	—	20	20	20	20
実績値	利用量(実人)	—				

※2026年度（令和8年度）より事業開始

⑪-1 ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）【低学年】

対象	小学校低学年					
事業内容	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	利用量(延人)	712	691	670	649	628
確保方策 (事業量の確保)	利用量(延人)	712	691	670	649	628
実績値	利用量(延人)	422				

⑪-2 ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）【高学年】

対象	小学校高学年					
事業内容	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	利用量(延人)	313	305	296	288	279
確保方策 (事業量の確保)	利用量(延人)	313	305	296	288	279
実績値	利用量(延人)	659				

⑫ こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）

対象	0～2歳					
事業内容	保護者の就労有無や理由を問わず、0～2歳の未就園児が保育施設を時間単位で利用できる制度です。 ※ 0歳児については、生後6か月から利用ができます。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	利用量(時間)	4,470	4,460	4,430	4,410	4,390
	利用者数(人)	447	446	443	441	439
	1人当たり利用 時間(時間)	10	10	10	10	10
確保方策 (事業量の確保)	利用量(時間)	4,470	4,460	4,430	4,410	4,390
実績値	利用量(時間)	592				

⑬-1 一時預かり事業（幼稚園型）

対象	3～5歳					
事業内容	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保育を行う事業です。なお、幼稚園の一時預かり事業は、幼稚園在園児を対象に預かりを行い、保育所等の一時預かり事業は、保育所等を利用していない乳幼児の預かりを行います。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	1号認定による 利用量(延人)	97,313	96,073	94,815	93,567	92,318
確保方策 (事業量の確保)	利用量(延人)	97,313	96,073	94,815	93,567	92,318
実績値	利用量(延人)	192,769				

⑬-2 一時預かり事業（幼稚園型以外）

対象	0～5歳					
事業内容	家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児について、主として昼間において、認定こども園、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保育を行う事業です。なお、幼稚園の一時預かり事業は、幼稚園在園児を対象に預かりを行い、保育所等の一時預かり事業は、保育所等を利用していない乳幼児の預かりを行います。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	0～5歳人口(人)	19,716	19,546	19,373	19,201	19,030
	利用量(延人)	19,511	19,342	19,171	19,001	18,832
確保方策 (事業量の確保)	保育所等による一時預かり(延人)	19,511	19,342	19,171	19,001	18,832
	ファミリー・サポート・センター事業(延人)	1,049	1,040	1,031	1,021	1,012
	トワイライトステイ事業(延人)	1	1	1	1	1
	合計	20,561	20,383	20,203	20,023	19,845
実績値	保育所等による一時預かり(延人)	18,025				
	ファミリー・サポート・センター事業(延人)	1,056				
	トワイライトステイ事業(延人)	11				
	合計	19,092				

⑭ 延長保育事業（時間外保育事業）

対象	0～5歳					
事業内容	保育認定を受けたこどもについて、通常の利用日又は利用時間以外の日又は時間において、認定こども園、保育所等において保育を実施する事業です。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	0～5歳人口(人)	19,716	19,546	19,373	19,201	19,030
	利用量(人)	9,331	9,250	9,168	9,087	9,006
確保方策 (事業量の確保)	利用量(人)	9,331	9,250	9,168	9,087	9,006
実績値	利用量(人)	13,150				

⑮ 病児・病後児保育事業（病児保育事業）【0～5歳】

対象	0歳～5歳					
事業内容	病児及び病後児を、医療機関、保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育を実施する事業です。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	0～5歳人口(人)	19,716	19,546	19,373	19,201	19,030
	利用量(延人)	1,150	1,140	1,130	1,120	1,110
確保方策 (事業量の確保)	利用量(延人)	4,600	4,600	5,900	7,400	7,400
実績値	利用量(延人)	993				

⑯ 放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）

(単位：人)

対象	小学校全学年					
事業内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室やプレハブ教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業です。					
		2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
量の見込み (推計値)	利用量	6,571	6,584	6,587	6,576	6,556
	1～3年生	5,131	5,108	5,078	5,039	4,994
	1年生	5,131	5,108	5,078	5,039	4,994
	2年生	1,709	1,684	1,658	1,630	1,601
	3年生	1,463	1,462	1,459	1,453	1,445
	4～6年生	1,440	1,476	1,509	1,537	1,562
	4年生	830	829	827	824	819
	5年生	427	449	469	487	504
	6年生	183	198	213	226	239
確保方策 (事業量の確保)	利用量	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000
実績値	利用量	6,850				